

平成29年度

土浦市中学生交換交流事業（パロアルト市）実施報告書



主催：土浦市・土浦市国際交流協会

ごあいさつ

私たち平成28年度土浦市中学生交換交流事業派遣生16名は、アメリカ、カリフォルニア州パロアルト市に、平成29年3月11日から21日までの間、滞在しました。

私たちはこの11日間、温かく迎え入れてくださったホストファミリーの元で生活をしながら、日本とアメリカの異なる雰囲気や文化を肌で感じ、目で見て学び、またそれらを体験することで、たくさんの感動と失敗を経験しました。

日本を離れる前は、ちゃんとコミュニケーションがとれるのかな？ホストファミリーはどんな人たちなんだろう？とたくさんの不安を抱えていた私たちでしたが、いざ、アメリカに着くと、最初は聞きなれない英語に戸惑いつつも、アメリカの方たちの明るさと優しさに徐々に不安は無くなっていきました。英語が伝わらなくても、一生懸命伝えようとする相手も理解しようとしてくれるし、日本と同じようにありがとう、という言葉や笑顔は相手に感謝を伝えるときにはとても大切なんだと学びました。

日本とは全く文化も言葉も違う国で11日間を過ごし、改めて日本の良さや、アメリカという国の良さを、心から実感できました。

今回の交換交流事業で、このような貴重な体験をしてきたことで、将来への自信にもなりました。この11日間の貴重な出来事を、これからも多くの人々に伝え、アメリカの素晴らしさを知って欲しいと思います。

この報告書は、私たち16人が体験したこと、感動したこと、嬉しかったこと、そして一人一人の大切な一生の思い出が詰まったものです。

最後になりましたが、土浦市長および土浦市国際交流協会会長をはじめ、関係者の皆様、そして両親に、このような貴重な経験をさせて頂いたことを心より感謝します。ありがとうございました。

派遣生代表

土浦第五中学校 関根 由華

◇◆◇◆◇◆◇◆ 目 次 ◇◆◇◆◇◆◇◆

派遣の部

☆パロアルト市紹介 1
☆派遣者名簿 2
☆研修日程 3
☆現地研修日程 4
☆研修報告
 事前研修 ～ 帰国報告会 5～12
 ホストファミリー紹介 13～28
 パロアルト派遣を通じて感じたこと 29～44
☆研修だより From U. S. A 45～56
☆引率者より 57～59

受入れの部

☆参加者名簿 60～61
☆受入れ日程 62
☆パロアルト市中学生の感想 63～64
☆パロアルト市引率者の感想 65～67
☆受入れを通じて感じたこと（土浦市保護者より） 68～69

付 録

☆派遣&受入れ 活動紹介写真 70～81

派遣の部

姉妹都市 アメリカ合衆国パロアルト市ってどんなところ？



パロアルト市中心街の様子

◆ 位置

パロアルト市は、アメリカ合衆国カリフォルニア州北部サンフランシスコ湾岸地域のサンタクララ郡にある都市です。
(サンフランシスコの南約56km、車で約50分の距離にあります。)

◆ 面積

約70km² (土浦市のおよそ2分の1)

◆ 人口

約6万4千人

◆ 概要

パロアルト市はシリコンバレー北端部にあり、スタンフォード大学の町と言われております。全米屈指の大学のお膝元であり教育水準のもっとも高い都市と評され、その住みやすさも相まって多くの人々を惹きつけております。大学は数多くの起業家、エンジニアを輩出し、ゆえにパロアルトは多数のハイテク企業が生まれ育っていく地となりました。いまや世界の巨人とも言えるグーグル、アップル、フェイスブックなどパロアルトから羽ばたいた大企業は枚挙に暇がありません。

「パロアルト」とは、スペイン語で“El Palo Alto(背の高い木)”を意味する言葉です。サンフランシスコキート川沿いのアメリカ杉にちなんで名付けられました。

◆ 交流の経緯

平成5(1993)年に旧新治村に進出したパロアルト市に本社のある企業の協力により、同市在住社員の家庭にホームステイする派遣事業を開始しました。ネイバーズアブロード(パロアルト市の国際交流団体)を中心とする多くのボランティアの協力により交換交流を継続しております。

平成21(2009)年4月、両市は姉妹都市の締結をし、土浦市にとって初めての姉妹都市が誕生しました。

平成29年3月 土浦市中学生交換交流事業パロアルト市派遣生・引率者名簿

土浦市		パロアルト市	
中学校名	生徒氏名	生徒氏名	所属学校名
土浦第一中学校	はせがわ きょうた 長谷川 響大	Evan Arbolante エヴァン・アーボランテ	JLS中学校
	たなか なほ 田中 奈穂	Angela Bi アンジェラ・バイ	ジョーダン中学校
土浦第二中学校	いいだ あき 飯田 愛樹	Kirtana Romfh キルタナ・ロムフ	ジョーダン中学校
	いのうえ るな 井上 瑠渚	Juliette Rudelle ジュリエット・ルデル	ジョーダン中学校
土浦第三中学校	あらい かいと 新井 開翔	Sidd Shashi シド・シャシー	JLS中学校
	ありさわ しおん 有沢 しおん	Audrey Kernik オードリー・カーニック	ジョーダン中学校
土浦第四中学校	こばやし ここな 小林 心夏	Michela Seah ミケラ・シーア	JLS中学校
	すずき みなぎ 鈴木 海凧	Madeline Siu マデリン・シュー	JLS中学校
土浦第五中学校	さとう ともや 佐藤 友弥	Evan Seki エヴァン・セキ	ジョーダン中学校
	せきね ゆか 関根 由華	Madison Wong-Brady マディソン・ウオン・ブレイディ	JLS中学校
土浦第六中学校	こまつざき けい 小松崎 桂	Max Robinson マックス・ロビンソン	JLS中学校
	ごとう しおり 五頭 詩織	Sara Almathkour サラ・アルマスクル	ジョーダン中学校
都和中学校	みつばやし はるき 三林 春希	Ethan Lin イーサン・リン	JLS中学校
	いなだ あやな 稲田 紋奈	Ana Hom アナ・ホム	JLS中学校
新治中学校	つかざき きょうじ 塚崎 馨士	Eric Fan エリック・ファン	JLS中学校
	すずき あすか 鈴木 明日香	Laura Lengre ローラ・レングル	JLS中学校
土浦第五中学校教諭	いじま さとこ 飯島 聡子		
土浦市市民活動課	さとう えつお 佐藤 悦夫		

研修日程

日 程	内 容
平成28年 12月27日(火)	説明会 ・派遣全般に関する留意点について
平成29年 1月31日(火)	第1回事前研修 ・現地での交流内容について ・英会話研修
2月13日(月)	第2回事前研修 ・派遣中の役割分担について ・英会話研修
3月 2日(木)	第3回事前研修 ・諸事項確認 ・課題発表 ・答礼会リハーサル
3月11日(土)	結団式・出発
3月11日(土) ～21日(火)	現地派遣研修
3月24日(金)	帰国報告会
5月24日(水)	第1回受入準備研修 ・パロアルト市受入全般について ・歓迎会準備
6月 2日(金)	第2回受入準備研修 ・諸事項確認 ・歓迎会準備
6月 8日(木) ～18日(日)	パロアルト市中学生等受入

現地研修日程

No.	月日	発着地／滞在地名	発着現地 時 間	スケジュール
1	3月 11日 (土)	土浦市発 成田空港着 成田空港発	13:30 15:00 17:55	結団式後、バスで成田空港へ 成田空港到着 出国手続き後、空路サンフランシスコへ(UA838便)
		サンフランシスコ着 パロアルト市	10:10 12:00	サンフランシスコ国際空港到着 入国手続き後、パロアルト市へ ホストファミリーと対面。ジョーダン中学校にて 歓迎パーティー。終了後各ホームステイ先へ (ホームステイ)
2	12日 (日)	パロアルト市	終日	ホストデイ(家族とともに) (ホームステイ)
3	13日 (月)	パロアルト市	終日	バディ(ホストとなる生徒)とともに学校へ (ホームステイ)
4	14日 (火)	パロアルト市	終日	バディとともに学校へ (ホームステイ)
5	15日 (水)	パロアルト市	日中 夜	学校訪問(1・2時限目) その後スタンフォード大学見学 各ホスト宅でクッキングナイト (ホームステイ)
6	16日 (木)	パロアルト発 ヨセミテ着	8:30 13:00	各中学校集合後、ヨセミテへ ヨセミテ国立公園到着後、見学 (ヨセミテ泊)
7	17日 (金)	ヨセミテ ヨセミテ発 パロアルト着	13:00 18:00	ヨセミテ国立公園見学 ヨセミテ国立公園出発 パロアルト到着後、ビンゴナイト (ホームステイ)
8	18日 (土)	パロアルト市	終日	ホストデイ(家族とともに) (ホームステイ)
9	19日 (日)	パロアルト市 サンフランシスコ市	10:00 午後	答礼パーティー パーティー終了後、サンフランシスコへ サンフランシスコ市内見学 フィッシャーマンズワーフ周辺散策など (サンフランシスコ泊)
10	20日 (月)	サンフランシスコ市 サンフランシスコ発	朝 12:15	朝食後、サンフランシスコ国際空港へ 出国手続き後、空路成田へ(UA837便) (機内泊)
11	21日 (火)	成田空港着 成田空港発 土浦市着	15:15 16:20 18:00	入国手続き後、バスにて土浦市へ 土浦市民会館到着後、解散

派遣生レポート

事前研修・結団式

担当:土浦四中

事前研修

- 1回目 ・グループに分かれて ALT の先生と英会話研修を行いました。
また、現地で泊まるホテルの部屋割りや、答礼パーティーの役割分担を決めました。
→ALT の先生や他校の生徒との英会話研修は、少し緊張しましたが、楽しく研修を行う事ができました。
- 2回目 ・2回目の研修でも同じグループで英会話研修を行いました。
今回の研修では、答礼パーティーで行うレクリエーションのリハーサルを行い、とても楽しかったです。
→この日は、バディのプロフィールが机の上に置いてあり皆で見せ合いながら、アメリカに行くのがよりいっそう楽しみになりました。
- 3回目 ・JTB の方から持ち物の説明や、結団式、答礼パーティー、帰国報告会の最終確認を行いました。
→9日後に迫るアメリカ留学にドキドキが止まりません。

事前研修も終わり、

アメリカ留学ももうすぐです！



結団式 3月11日

- ・主催者・来賓挨拶
 - ・引率の飯島先生・派遣生代表の関根さんの挨拶
 - ・土産品の披露
- 多くの方から応援の言葉を頂きました。
まだ実感がわからない人がちらほらいる中
バスに乗り込み、成田空港に出発しました。



歓迎パーティ



僕たちパロアルトの派遣生が最初に経験したのは、バディたちからの歓迎パーティでした。パーティではまず、バディたちが準備をしてくれたピザやいろいろな料理をみんなで食べました。和洋折衷で、どれもとても美味しかったです。パロアルトからの歓迎の挨拶から始まり、土浦からの挨拶、派遣生の一人一人の紹介がありました。ホストファミリーと初めて会い、会話をしました。とても緊張しましたが、とてもフレンドリーな家族だったので安心しました。それぞれのバディたちが作ったいろいろなポスターがあり、どれも頑張って作ったのがよくわかり、僕はとても嬉しかったです。10日間の始まり、これからに期待できる、とても良い歓迎パーティでした。



担当：土浦六中

JLS 中学校

担当：新治中学校

JLS 中学校は公立学校で生徒数は約1200人です。

屋外には、多くのバスケットボールのコートや芝生の運動場がありました。

校舎とバスケットボールコート➡



給食がないので生徒たちは弁当を持ってくるか、カフェテリアでランチを買っていました。カフェテリアはすごく混むので、みんな授業が終わるとすぐに走ってカフェテリアに向かっていきました。

カフェテリアの近くには売店があり、お菓子や飲み物が売られていました。

JLS 中では、日本の中学校とは違い、生徒が毎時間教科ごとの教室に移動します。

日本語クラスの教室には、習字が壁に貼ってありました。



JORDAN MIDDLE SCHOOL

担当：土浦二中

通学は、スクールバスを利用する人、親の送り迎えの人、自転車の人や徒歩の人など様々です。

授業は毎時間教科ごとに生徒が教室を移動します。時間内に遠い教室に行くために走って移動しなければならない時もあります。

給食はなく、お昼はカフェテリアで買うか好きなものを持ってくるスタイルでした。

授業の途中でトイレなどに行くときは、紙に書いて先生に渡してから行きます。



ジョーダン中のみんなは、とても優しく、明るく、フレンドリーで、「Hi!」や「Hello!」と声を掛けてくれる生徒が大勢いました。授業中はみんな積極的に、先生に質問したり発言したりと活発に取り組んでいました。お昼休みは日本の中学生と同じです。おしゃべりしたり遊んだり、それぞれ楽しく過ごしていました。全体的には、広い敷地と整った設備の中でみんな比較的自由にのびのびと活動しているという印象でした。

校舎の様子



広いテニスコート



スタンフォード大学

担当：土浦一中

スタンフォード大学は「シリコンバレー発祥の地」としても有名な私立大学でカリフォルニア州、シリコンバレーの中心に位置しています。

1891年に設立された歴史のある学校です。

キャンパスの広さは 3,310 ヘクタールととても広いので、自転車やスケーターで移動している人も見かけました。

メモリアル・チャーチ



中は天井が高くて、きれいなステンドグラスがあって、大学の中にあることが信じられないくらい豪華でした。外には大学の卒業生が埋めたタイムカプセルが、創立からずっと埋め続けられていましたが、まだ 1 回も開けられたことがないそうです。

フーバータワー



このような、歴史を感じられる建物がたくさんありました。

この建物はスタンフォード大学創立 50 周年を記念して建てられました。

最上階は展望デッキになっていて、そこからは 360 度周りを見渡すことができました。

緑がきれいな景色には感動しました。

ヨセミテ国立公園

担当：土浦市立都和中学校

<ヨセミテ国立公園とは>

ヨセミテ国立公園は、アメリカ合衆国のカリフォルニア州にあります。1984年に、ユネスコの世界遺産に登録されました。公園内には、日本ではなかなか見られない動物や、ヨセミテ国立公園に生息する特別な動物もいるそうです。公園の面積は、3,081平方キロメートルです。公園全体の1%にも満たないヨセミテ溪谷（約18平方キロメートル）に、年間350万人の観光客が訪れます。

<研修内容>

私たちは、3月16日と17日にヨセミテ国立公園を訪れました。

<1日目>

私たちは、バスに乗りヨセミテ国立公園に向かいました。片道約6時間かかりましたが、様々な景色を見ることができました。

ヨセミテ溪谷にお昼頃に着き、記念写真を撮りました。その後、公園内を散歩し、多くの大自然を見ました。その後、ホテルに入り夕食をとり、答礼パーティーの練習をしました。

<2日目>

私達は、午前バスで公園内をまわりました。一度バスを降りて、徒歩でミラーレイクを見にいきました。お昼はフードコートで食べました。

みんなで多くのところへ行き、一生の思い出になりました。



<感想>

今回ヨセミテ国立公園を訪れ、アメリカの広大な自然を肌で感じる事ができました。とても良い経験になりました。

Farewell Party 2017.3.19

担当：土浦五中

お世話になったホストファミリーとも今日でお別れ。

感謝の気持ちを伝えるために、派遣生みんなで一生命準備しました。



◀ 福笑いの様子。

バディとペアを組んで、福笑いに初挑戦！

それぞれ個性豊かな顔が出来上がりました！

全員が終わったら、一番 ▶
面白い顔を作った人、
一番上手な顔を作った
人に投票してもらい、
一番を皆で決めました。



◀ 絵伝言ゲームの様子。

なかなか伝わらないお題に皆
大苦戦…。パロアルトの皆も、
楽しんでくれました！！



不安でいっぱいだった私達を
温かく迎え入れてくれたバディ
をはじめ、ホストファミリーに
感謝を伝えることができました。
最後は寂しくて泣いてしま
うくらい、楽しい毎日でした。
素敵なひとときをありがとう。
本当にお世話になりました。

帰国報告会

担当：土浦三中

☆派遣生代表あいさつ

派遣生代表の、関根由華さんからあいさつがありました。みんなが学んだことなどを出席者の方々にしっかりと伝えることができました。



☆土産品の贈呈

来賓の方々にスタンフォード大学のパーカーを派遣生から土産品として贈呈しました。



☆派遣生の帰国報告

派遣生それぞれからパロアルトに行って、学んだことや感じたことを報告しました。自分の体験をしっかりと堂々とした態度で話すことができました。



MY HOST FAMILY

土浦第一中学校 長谷川 響大



BUDDY Evan

いつも元気で笑顔! 親切でとても気が利く男の子。
勉強もスポーツも得意。日本のマンガやアニメが大好き!

BROTHER Quinn

とても優しいお兄ちゃん。「侍」の帽子がトレンドマーク。
走り高跳びをやっているそう。とても頭がよくて色んな知識を持っていて、日本語もしゃべれる!

MOM Joan

弁護士をやっていてとてもいそがしい。
だけど僕らのことを第一に考えてくれる優しいお母さん。
とても日本文化に興味があるそうだ。土浦にも来たことがある
そうで、「つちまるはとてもかわいい!」といていた。

DAD Rollie

土木技師をやっているそう。いつも家事を進んでやってくれて
いた。沢山話してくれた。特に僕と同じく車が好きらしく会話が弾んだ! どんな時もハイテンションで楽しいお父さん。



1日目のホストデイの朝、僕は寝室からリビングにいて、
Goodmorning!という、「Kyota! Look that!!!」

そして玄関を開けると.....真っ赤な車が!!!

そう!これは僕の好きな車。ダッジチャージャーR/T ではない
か。車が大好きな僕のために、レンタルしてくれたのだ。

そして興奮が収まらないまま、友達とみんなでサンタクルーズ
ビーチの遊園地に行った。

そしてホストデイ 2日目には家から一時間半くらいのところ
にある、世界的に有名なラグーナセカというサーキットに連れて
行ってくれた。見たことのない高低差に驚いた。そのほかの
日も隙さえあれば、買い物やお食事に連れて行ってくれた。優
しい家族のおかげで最高のホームステイとなった!

Angela's family



お父さん Yafei 優しくて家族思いなパパ

お母さん Hongbo 元気で明るい笑顔なママ

Buddy Angela 本が大好きで絵が上手
ビオラやバレーボールも
できる素敵な女の子

Host day



一日目は Big Basin Redwoods State Park に行きました
セコイアという大きな木があったり川が流れていたりした広い
公園でした 空気がおいしくて、大自然を肌で感じる時間が
できた時間でした

昼ごはんはピザを食べました
分厚くて大きくてすごく食べごたえが
ありました



二日目は少年野球の試合を観に行き
ました たくさんのチームがあつて盛り
上がりました

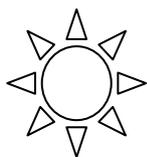
その後映画 Moana を見に行きました
英語バージョンでしたが、だいたい話
は分かりました



この店のハンバーガーが1番おいしかったです
お肉がステーキみたいに分厚く
てびっくりしました たまたま土浦
の生徒とそのバディと会って話せ
て楽しかったです



My host family



土浦第二中学校 飯田 愛樹

- Kirtana バレーボールが大好きで元気な優しい私のバディ
Aditya ゲームとおしゃべりが大好きなおもしろい弟！
Ravi まだ1歳で小さいけど、場を和ませてくれる
かわいい赤ちゃん！！
Padraic 料理が上手で私のことをいつも気にかけてくれる
優しいお父さん
Anitra とても明るくて日本語を頑張って覚えようとしてくれた
楽しいお母さん



Host day

初日は、バレーボールの試合に連れて行ってもらいました。試合や雰囲気は日本とは全然違っていました。また、試合の途中に、スターボックスへ行きました。飲み物などのサイズが大きくてとても驚きました。クッキングナイトでうどんを作ったら「おいしい」と言って食べてくれました。ホストファミリー、本当にありがとうございました！



MY HOST FAMILY

土浦第二中学校 井上 瑠渚



Buddy: Juliette

面白くて活発でノリがいい
私のバディ

Father

日本語が上手でとても優しい
お父さん

Mother

絵を描くのが得意で、料理が
上手な頼もしいお母さん

Sister: Loeline

歌が上手でとてもかわいい
お姉ちゃん

Host Day

1 日目

朝、グーグルの本社に連れてってもらいました。

その後、自転車でお昼ご飯を食べに行き、公園に寄って散策をしました。

午後は、Juliette のピアノの発表会でした。とても上手だった！



2 日目

遊園地に行きました！

お姉ちゃんチームと私&バディのチームに分かれて、お化け退治のアトラクションの得点を競いました。結果は私たちの勝ち！嬉しかったな～

ジェットコースターは怖かったけれどもとても楽しかったです。

遊び疲れて帰りはみんなでお寝してしまいました(笑)

最高のホストファミリー！最高の時間をありがとうございました！！

My host family

土浦第三中学校 新井 開翔



お父さん Shashi

何でも教えてくれる優しいお父さん

お母さん Shanthy

いつも見守ってくれるお母さん

Buddy Sidd

野球とゲームが大好きな僕の Buddy

弟 Shreyas

とても元気で笑うのが大好きな弟

Host day



初日はBuddyの家族と、他のホストファミリーの家族で、サンタクルーズのビーチに隣接している遊園地に行きました。日本の遊園地よりアトラクションのスケールが大きくて、とても驚きました。他にも、射的や、アーチェリーの屋台？みたいなのもあって、とても楽しかったです。

最終日の午前中は、フェイスブックとGoogleの本社に行きました。午後は、他のホストファミリーと一緒にボウリングをしました。大勢でボウリングをしたことがあまりなかったので、みんなでワイワイボウリングが出来て楽しかったです。



ホストデイではない時も野球の試合を見せてくれたり、スケート場に連れて行ってくれたりしたので、とても楽しかったです。

アメリカは、時間が出来たら、また行ってみたいと思えるような場所になりました。本当にありがとうございました。

My Host Family

土浦第三中学校 有沢 しおん



☆Dad (Glen)

料理が上手でたくさん話しかけてくれる優しいお父さん

☆Mom (Brooke)

困ったときはいつも助けてくれた笑顔が素敵なお母さん

☆Sister (Courtney)

いつも笑顔でたくさん話をした水泳が大好きなお姉さん

☆Buddy (Audrey)

歌うこととダンスが大好きでとても明るくて楽しいバディ

☆Pet (Petty)

大きいのにとってもいい子で可愛い5才の犬

Host Day

☆3/12

サンフランシスコに連れて行ってもらったたくさん場所に行ってからアートミュージアムに行ってお飯を食べました！そのあとにパロアルトで一番おいしいアイス屋さんに行きました！暑かったのでとてもおいしかったです！

☆3/18

テニスとスイミングのクラブに連れて行ってもらうそこでお昼ご飯を食べました！そのあとは、お姉ちゃんの高校のバスケの決勝戦に連れて行ってくれました！逆転負けしてしまったけど、すごい迫力でした！夜は初日と同じでBBQでした！



Thank you for the best days !

My Host Family

土浦第四中学校 小林 心夏



- Buddy** 絵がとても上手で日本が大好き！
- Dad** すごく優しくて、色々な所へ連れて行ってくれた。
- Mom** 元気でおもしろい！アメリカのことをたくさん教えてくれた。
- Sister** 歌が好きで、たくさん話しかけてくれた。
- Pet** とってもかわいい男の子の犬。

サンフランシスコに連れて行ってもらいました。
教科書などで見た有名な場所をたくさん見ることができて、とても興奮しました。
チャイナタウンにも行き、フォーチュンクッキーを作っているところを見ました。
とても良い経験が出来ました！



日本ではまだ公開されていなかった「美女と野獣」を見に行きました。
映画を見るための大きな建物があることにびっくり！
とても感動しました～！



Cooking Night では、お好み焼きと親子丼を作りました。
お好み焼きをひっくり返すのに成功すると、みんな拍手をして喜んでくれました。



Thank you for all the memories!

My Host Family

土浦第四中学校 鈴木 海風



Robert→日本語に興味津々のおもしろいお父さん

Shirley→いつも私に笑顔で話しかけてくれる優しいお母さん

Elena→K-POP が大好きでいつもノリノリなお姉ちゃん

Madeline→料理が得意な元気な私の Buddy

Host day

Day2

ウォルトディズニーミュージアムに行きました。中には、アニメの原稿や、ディズニーランドのミニチュアなどが置いてありました。また、Ghirardelli というチョコの有名なお店でアイスを食べました。



Day8

Santa Cruz Beach の遊園地に行きました。絶叫系のアトラクションが多くて特にジェットコースターが楽しかったです。海もとても綺麗でした。



My Host Family

土浦第五中学校 佐藤 友弥



Father : 日本語が得意でいつも
明るいお父さん

Mother : 料理が上手でクールな
お母さん

Buddy : いつも元気でとても
優しい男の子

Host Days



最初のホストディは、スタンフォード大学の広い公園に行きました。日差しが強い中長い距離を歩きました。そこからみる町の景色はとてもきれいで、感動しました。また、その景色をみて、アメリカは広いなと感じました。

2日目のホストディは、海の見える遊園地に行きました。そこについてまず乗った乗り物は、ジェットコースターでした。いきなりだったので驚きましたが、迫力があってとても楽しかったです。しかしその後、もっと大きなジェットコースターに乗ったりバイキングのようなものにも乗り、とても疲れました。そして、2時間くらい遊んだ後、すぐその海に行きお昼を食べながら景色を見たりして過ごしました。とても楽しかったです。



~My host family~

土浦第五中学校 関根 由華



mother:いつも私を気遣ってくれた、
陽気で優しいお母さん

Buddy:ちょっとシャイだけど苦手な
日本語でたくさん質問して
くれた自慢のバディ！

Sammy:イチゴが大好きな、
元気な犬

~Host day~

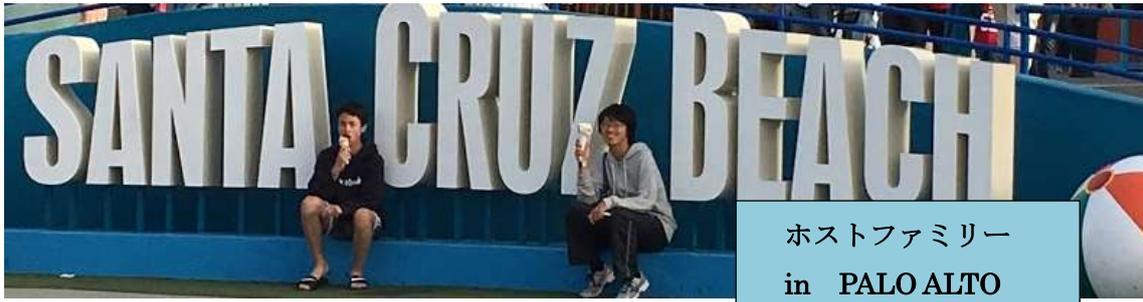
3/12 Santa Cruz Beach の遊園地に連れて行ってもらいました！バディと一緒にいった海はまだ少し冷たかったけど、日差しが強く暑いくらいだったので、気持ち良かったです。夕食はホストファミリーの友達のお家で手作りのピザを食べました。すごく美味しかったです！



3/18 サンフランシスコでケーブルカーに乗って、フィッシャーマンズワーフに行きました。たくさんの坂に驚きつつも、日本とは違った景色を楽しみました！



学校の後や仕事から帰ってきてからも、たくさんの場所に連れて行ってくれたホストファミリー。おかげでいろいろな思い出が詰まった最高の数日間になりました♥
ほんとうに感謝の気持ちでいっぱいです！THANK YOU!!



僕のホストファミリーは、とても面白い四大家族だった。バディは長男のマックス・ロビンソンで背は同じくらい。足が速く、僕と同じテニスをしていた。マックスの部屋は広く、本もたくさんあり、ボードゲームもたくさんあった。部屋の様子だけでも本があるところは僕と同じだった。実際しゃべってみると自分の英語をしっかり理解してくれ、マックスも時々日本語をしゃべってくれたので、とても安心した。次男のジャックは、まだこちらでいえば小学生だった。ジャックはダンス教室に通っていて、週二回練習していた。とても活発で、日本語を話すまではいかなかったが、ゆっくり英語をしゃべってくれて、ちゃんと気遣いができることに驚いた。両親の母シャロンと父クリスは、やはり積極的で日本語も使って、僕にいろいろなことを教えてくれた。シャロンは学校でのランチとディナーを作ってくれた。クリスも毎朝、ワッフルやパンケーキなど違うものを出してくれた。どの料理もおいしくて、自分の家ではあまり作らないものも出た。特に一日目のディナーは和食でとても美味しかった。ホストデイの一日目には **Montol by Aquarium** に連れて行ってもらった。クリスとマックス従兄のニコラスと一緒に行った。水族館は大きいのかと思ったら、想像より小さくて人も思ったより少なかった。けれど、その分それぞれの魚などのコーナーの展示は凄かった。タコの展示コーナーでは、クラークンとして、船を襲っていたと言われる話から様々な歴史が載っていた。水族館のあとにはアイスを食べに行った。注文したのはチョコレートアイスのシングルだったが、とても大きかった。ダブルにしていたら！と思ってアメリカと日本の違いにとても驚いた場面だった。二日目はサンタクルーズの遊園地のビーチに行った。アトラクションが沢山で日本にはないとても面白いものがあった。例えばジェットコースターは今まで日本で乗ったものより形が違うものがあった。最初から暗闇に落ちるものもあったし、走りながら回転するものもあって種類豊富でとても良い経験だった。とても充実していた。帰りにまたアイスを買ってもらった。とても楽しいアメリカでの体験だった。



家にボート！庭にトランポリンがある！



土浦六中

小松崎桂

My Host Family



Mother 簡単な英語で色々なことを教えてくれた優しいお母さん

Brother たくさん話しかけてくれて、ジョークが好きなお兄ちゃん

Sara 気遣ってくれて、とても元気でバレーが趣味のバディー

Host Day

1日目は、スタンフォード大学の中のショッピングモールに出かけました。初めて見た大学の中は遊園地よりも広いのではないかと思います。バディの洋服を一緒に選んだり、美味しいスムージーを飲んだりして充実した時間を過ごすことができました！夕食もそのままそこで取りました。日本の学校の話をつたない英語で話したため、分かりづらかったはずなのにずっと笑顔で話をきいてくれました。

2日目は、ビーチと隣接している遊園地に出かけました。体を大きく揺り動かして乗り物を1回転させる観覧車のようなものや、重力で急な角度になっても落ちなかったアトラクションなど、日本では乗れないものに乗れたのでたのしかったです。言葉が通じなくても一緒にはしゃぐことでさらに仲良くなれた気がしました。



My Host Family

都和中学校 三林 春希



Host day

一日目、歓迎パーティが終わった後バディの野球チームの試合観戦をしたり、アイスクリームを食べに行ったり、“Facebook”の本社の前で記念写真を撮ったりたくさんのことをしました。この日は、時差ボケでずっと眠りませんでした。

二日目、僕はホストファミリーと“Tech”という科学博物館に行きました。とても楽しかったです！

三日目、バークレー大学に行きました。スタンフォードとは違い、町は少し治安が悪いように感じました。

三日目の夜、クッキングナイトを行いました。ホストファミリーに全面協力してもらいバディの好きなカレーうどんを作りました。みんな疲れていたけど、とてもおいしく食べてくれました。

Father : 僕でも分かる簡単な英語で話してくれた、家族思いのお父さん！

Mother : 色々な場所を紹介してくれた、いつもおいしい料理を作ってくれた優しいお母さん！

Ehan lin : いつも僕をサポートしてくれた、クラスの人気者！僕のバディ！

Brothers : いつも元気で性格が正反対なかわいい双子！



僕のホストファミリーの家はとても大きく、庭もとても広くて驚きました。僕が 10 日間を終え、日本に帰ってから数日後にホストファミリーから“あなたは私たちの家族の一員です”というメールが来た時とても感動しました。あっという間の 10 日間でしたが、とてもいい経験になりました。**Thank you!**

My Host Family

都和中学校 稲田 紋奈



Father Ivan 明るくて、面白い
 Mother Dawne 優しくて、料理上手
 Brother Carson マイペースで、かっこいい
 Buddy Ana 優しくて、元気いっぱい
 Pet Rocky 可愛くて、人懐っこい

♡♡♡ HOST DAY ♡♡♡

～1日目～

Santa Cruz へ ①

海と遊園地で Ana Family と
 友達と遊びました。
 ゲームでベアをゲット🐻

～最終日～

SAN FRANCISCO へ

私が行きたかったチョコレートのカフェに連れて
 行ってくれ、ホットチョコレートとケーキを食べました。
 デイナーはとても美味しいステーキを食べました。



☆彡 平日 ☆彡

📌 ネイルサロンへ

📌 🍩スイーツ屋さんへ🍩

📌 サンフランシスコを満喫📌



パロアルトでの夢のような日々は一生、私の宝物です。Thank you so much for everything.

~My host family~

新治中学校 塚崎 馨士



←The Fans

Father 常に気にかけてくれた
優しく、簡単な英語で話してくれた。

Mother 料理が上手。市内のことについて、詳しく教えてくれた。

Brother 元気で面白い。すごく頭が良かった！

Buddy フレンドリーで友達も沢山いた。音楽が好きでオーケストラをやっていた。

クッキングナイトではお好み焼きを作りました。

食べたことがなかったと聞きましたが、美味しそうに食べてくれました。

~Host Day~

↓ Microsoft 店内



ホストデイには、
アウトレットに連れて
行ってくれました。

Apple Store や **Microsoft**
の店もありました。

Microsoft の店内には多くの
パソコンやゲーム機器
があり、無料でコンピュー
ターゲームをプレイでき
ました。また、VRの体験
コーナーもあったので、僕
も実際にやってきました。

My Host Family

新治中学校 鈴木 明日香



Jill(mother): 優しくて、キレイな、かっこいいお母さん

Laura(buddy): 明るくて、日本のアニメが大好きなかわいい私のバディ

Sebastien(brother): 大学生

☆☆☆Host Day☆☆☆

★遊園地★

Santa Cruz Beach という遊園地に行きました！海の近くにある遊園地で景色がすごくきれいでした。絶叫系のアトラクションは苦手でしたが挑戦してみました！こわかったけどとても楽しかったです。帰ってからバディが私にネイルをしてくれて、かわいかったです！



サンフランシスコのおいしいハンバーガー屋さんに行きました。Big size!!

★ショッピング★

バディと一緒にショッピングに行きました。いろんなものを買いました！そのあとに、「Beauty and the Beast」という映画を見ました！全て英語だったので内容はよくわかりませんでしたが、感動しました。映画の中の歌を、帰りの車の中でみんなで歌いました！お母さんが歌上手でびっくり！！



★クッキングナイト★

ちらしずしを作りました！味が心配でしたが、おいしいとってたくさん食べてくれました。良かった～。



すごく楽しい時間でした！Thank you very much!!!

今回のパロアルト派遣では、文化の違いはもちろんのこと、普通の旅行ではできないような「アメリカの家族の一人」として様々なことを学びました。

1. 日本とアメリカの違い

まず、最も違うのは、人々の雰囲気です。もちろん言語が違うということが原因かもしれませんが、基本的にアメリカの人たちは初対面の人も明るく自己紹介から始まり積極的に話してくれます。スーパーやお店の店員さんは誰にでも笑顔で話しかけてくれます。そこが、アメリカの人たちのいいところで、日本のぼくたちには足りないところだなと思いました。特にそれを思ったのは僕たちがジョーダン中についた時の何とも言えないあの空気は忘れられません。みんな歓声を上げて拍手で迎えてくれました。そして、パーティーや学校生活を振り返ると、とても自由度が高く、日本に比べるとリラックスした感じでした。たとえば、授業中に水を飲んでいたり、先生がゲームの勝者におかしを配ったり、日本では絶対に見ない光景でした。日本でやったらもちろんいけないことですが、それがアメリカの文化なんだなと思いました。そしてなんととっても食文化には驚きました。基本的なサイズと量が日本の基準と違うので、予想はしていたけれど驚きました。甘いものはとことん甘い。しょっぱいものはとことんしょっぱい。そんな感じでした。連日にわたりアメリカンフードを食べていたため、クッキングナイトで僕がふるまったソーメンやおにぎらずを食べたときに自分で作ったモノながら、ホッとしました。でもデザート類はアメリカのほうが全然発達していました。しかし、このようなものを食べ続けることで肥満大国になってしまうんだらうなとも感じました。公共施設のきれいさは日本が絶対です。特にトイレなどは日本のものとは比べ物にならないくらい汚かったです。(ホストファミリーの家はきれい)そして、街については、僕たちの土浦とは違いが沢山ありました。交通は、やはり車が発達していました。

パロアルトの人々の所得が高いということもあるかもしれませんが、パロアルトに本社を置くテスラモーターズ製をはじめとした高級電気自動車も沢山走っていたり、グーグルの自動運転車両が走っていたり、ハイテクな町でした。アメリカにはフリーウェイという無料の大型道路が通っており隣町に移動するときなどはすごく便利です。パロアルトという街はどちらかというと都会的な街で世界的に有名なハイテク企業が軒を連ねるハイテクな街です。怖さを一切感じない安全な街でした。

2. ファミリーと過ごした毎日

歓迎パーティーが終わるや否や、すぐに荷物を家において、隣町のサンノゼに買い物に連れて行ってくれました。ナイキファクトリーストアやテスラのショールームに行きました。そして一睡すれば、レンタカーのダッジチャージャーで遊園地へ。その後も隙があれば買い物に行ってお土産や日本にはないものをたくさん紹介してくれました。そしてエヴァンと通った JLS 中は日本とは全く違った貴重な体験ができました。一番印象的であり羨ましかったことは、すべてとっていいほどの系統の人種のみなどいっしょに学校生活を送れることです。みんな僕を休み時間のサッカーに誘ってくれたり授業中に助けてくれました。学校が終わると学校の敷地内の公園にみんなで遊びに行きます。とても楽しかったです。

3. 最後に

今回、派遣で僕に携わってくれたアメリカの友達、ファミリーその他、日本の関係者の皆さんのおかげで前よりもアメリカなどの外国に行ってみたい！という気持ちが強くなりました。こうして互いの文化を知り合う国際交流の素晴らしさが実感できました。ありがとうございました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第一中学校 田中 奈穂

私がパロアルトで過ごした10日間は、たくさんのことを学んだり体験したりすることができた貴重な時間でした。

まずアメリカに着いて1番驚いたことは、アメリカ人はみんなとてもフレンドリーで親切なことです。私が緊張していても、学校に行けば優しく声をかけてくれるし、お店に行けば明るく挨拶をしてくれました。ホストファミリーはゆっくり簡単な英語で話してくれました。そして笑顔で接してくれたので、緊張はあっという間にほぐれていました。

次にアメリカは自由なことです。特に学校訪問では、アメリカの学校と日本の学校の違いに驚きの連続でした。制服はないし、メイクやアクセサリ、携帯もOKだし、スナックも食べていることなどは日本では考えられないことでした。学校の教室や廊下の様子は、映画のようで感動しました。教室は外から出入りするようになって日本の学校より解放感がありました。授業では積極的に発言していました。また、給食がなかったり、外にあるベンチに集まってスナックを食べるランチという時間があったりしました。

3つ目に嬉しかったことは、日本の文化が思っていた以上に浸透していることです。街のなかでも、日本食料理屋さんがあったり、日本語のパンフレットがあったりと「日本」を感じることができました。学校の日本語クラスでは、書道の作品が飾ってあったり、日本語の歌を知っていたりしてとても嬉しかったです。

今回の交換交流事業に参加して伝えたいことがあるのに伝わらないもどかしさを感じることも多かったです。その分伝わった時の嬉しさは大きかったです。また、アメリカの良さ、日本の良さそれぞれを発見することができました。

最後に、このような貴重な経験ができた私は本当に幸せです。この経験で学んだこと体験したことを忘れずにたくさんの人に広げていきたいと思います。そして、たくさんの人との出会いに感謝します。ずっと応援してくれた家族や友達、優しく受け入れてくれたHost Family、ジョーダン中学校のみんな、本当にありがとうございました。これから、英語の勉強を頑張って、もっともっと話せるようにしていきたいです。

Thank you very much!!!

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第二中学校 飯田 愛樹

私のアメリカでの目標は異文化を学ぶこと、自分から積極的に話しかけることでした。最初は知らないところに長い間、家を離れたことがなかったのでごく不安でした。飛行機に乗る時間も長かったので疲れもありましたが、アメリカにつくと「いよいよだなあ」というワクワク感と「ホストファミリーとうまくやっていけるかなあ」という気持ちがありました。でも、ホストファミリーに会って「この家族とだったら大丈夫！」と思いました。

私はアメリカでの10日間で学んだことがたくさんあります。特に感じたことは、英語が話せなくても気持ち次第でどうにかなる！ということです。私は英語が得意ではなかったのでコミュニケーションが取れなかったらどうしようという気持ちがありました。でも、話したいという気持ちと少しのジェスチャーを使ってみたら、意外に伝わって会話ことができました。互いに通じなかったことが伝わると、とてもうれしかったです。

学校訪問では、学校での自由さに驚きました。日本の生徒よりも積極的に発言している人が多かったです。そして、授業中もとても楽しそうで、何を言っているのか、あまり聞き取れませんでした。その場にいるだけで楽しかったです。またアメリカの人はとてもフレンドリーでした。学校で私を見かけると「Hi! Aki~」と言って話しかけてくれたり、ランチの時間に「一緒におやつを食べよう！」と、誘ってくれたりしました。私が緊張してあまりしゃべれなかったときも笑顔で対応してくれました。また、買い物をするときにお金がわからなくて困っていたらお店の人が優しく教えてくれたのでスムーズに買い物をすることができました。

そして、スタンフォード大学やヨセミテ国立公園はさすがアメリカ！！というすごい迫力でした。

アメリカのいいところだけでなく、日本を離れてみてわかった、日本の良さも感じる事が出来ました。

今回のパロアルト派遣では、本当に学んだことが多く日本では体験できないようなことも体験できました。そして、初めて会ったにもかかわらず優しく接してくれた、ホストファミリーや学校の友達、出会ったすべての人に感謝したいです。

私は、この11日間の貴重な体験で感じたことを生かし、自分の将来に繋げていきたいです。

このように貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第二中学校 井上 瑠渚

私は、この派遣を通してたくさんのことを学び、感じました。

アメリカに到着して1日目、私はバディやホストファミリーと仲良くできるか、うちとけられるか、不安な気持ちでいっぱいでした。ですが、いざホストファミリーと会ってみると、みんなとても優しくしてくれて私の心配は吹き飛びました。分からない単語があると教えてくれたり、翻訳を使ってくれたり、きちんと聞き取れないときはゆっくり話してくれて、おかげで私も楽しく話すことができました。お父さんは簡単な日本語で話してくれることもありました。みんなの気遣いととても心が温かくなりました。

歓迎パーティーの後、バディとボールで遊んでいると、いつの間にか周りにはいた土浦市の友達やそのバディ、ほかの友達も加わってあっという間にみんなの距離が縮まりました。私はもちろん、その場の誰もが楽しい笑顔になっていました。話す言葉が違っても、仲良くなって、分かり合って、笑い合って、なんだかとても感動しました。

学校でもみんながとても親切にしてくれました。「Hi!」や「Hello!」と、声を掛けてくれる子や「こんにちは」を覚えて何度もあいさつしてくれる子もいました。みんな積極的に話しかけてくれてとても嬉しかったです。好きなアニメや漫画など共通の話題で盛り上げられる仲間もできて、本当に楽しく過ごすことができました。授業中は、発表をしたり先生に質問したりと、みんなが積極的にとても活発に取り組んでいるのが印象的でした。

この11日間、私は嫌な思いをすることが1度もありませんでした。ホストファミリーや学校の友達はもちろん、出会った人たち誰もが優しく親切に接してくれました。買い物をしていて、お菓子を落としてしまったら拾うのを手伝ってくれた上にこれに入れるといいよと箱を渡してくれた人、小銭の出し方に苦労していたら数えてこれとこれだよと教えてくれた店員さん…。たくさんの人たちに支えられた11日間でした。

もっと英語力があつたら、もっと積極的だつたら、もっと…と思うことはたくさんありましたが、毎日新しい発見のある充実した日々を送ることができました。バディの Juliette、ホストファミリーには本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に、こんなに素晴らしい機会を与えて下さった関係者の皆様、ありがとうございました。ここで得られた経験を最大限に活かせるようにがんばっていきます。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第三中学校 新井 開翔

僕は、正直アメリカに行くことがとても不安でした。英語が得意なわけでもなく、日本でさえ知らない人に声をかけられたら戸惑ってしまうような人見知りな僕が、アメリカで10日間も過ごせるのかとずっと心配していました。そんな気持ちでアメリカに着くと、すぐにアメリカの人が話しかけてくれました。最初は戸惑ってしまいましたが、徐々に抵抗がなくなりその日のうちに緊張せず話すことが出来るようになりました。

僕のホストファミリーは、とても優しく、色々なところに連れて行ってくれました。その中でも僕が一番楽しかったのは、スケート場に連れて行ってくれたことです。スケートは初体験だったのでとても難しかったのですが、バディやバディの弟に教えてもらって少しできるようになりました。とても楽しかったです。

学校も日本とは比べ物にならないくらい広くて、その中で伸び伸びといろいろな授業を体験することができ、このままアメリカの学校に通いたいと思えるほど楽しかったです。放課後は、バディやバディの友達と学校の隣の公園で遊びました。アメリカの人はみんな身のこなしがよくて、アスレチックなどをすいすいと登ってしまうので、とてもうらやましかったです。

また、アメリカの広大な敷地や自然にはとても驚かされました。特にヨセミテ国立公園などでは、日本では絶対に味わえない自然の作った絶景の数々を見る事が出来ました。その中でも僕が一番好きな場所は、『ブライダルベール』です。近くまで行くことが出来たので、水しぶきがかかってきもちよかったです。

最後の日は、バディとの別れがつらくて泣きそうになってしまいました。アメリカに行く前は不安しかなかった僕が、こんなにもアメリカを離れたくない気持ちになるとは思ってもいなかったのも、自分でもびっくりしてしまいました。

この留学で気付いたアメリカの良いところは、みんながフレンドリーなところです。逆に、日本の良いところは(日本人だからかもしれませんが)お風呂で、シャワーではなく湯船につかれる事です。

最後に、この交換留学を通して知らなかったアメリカの良さを知る事が出来ました。また、日本には気付かない日本の良さも知ることが出来ました。この体験は僕の人生を変える貴重な体験だと思います。この経験を生かして自分の思い描いた道を突き進んでいきたいと思っています。この交換留学をずっとサポートしてくださった関係者の皆さん、本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第三中学校 有沢 しおん

私は、この派遣を通して、いろいろな経験をし、沢山のことを学ぶことができました。その中で特に感じたことが2つあります。

1つ目は、「積極的なことはとても大事だ」ということです。私は、小さいころから英語を習っているので日常会話なら大体話せるだろうと思っていました。そしてパロアルトに着き、ホストファミリーと対面した時、思ったより聞き取ることができなかつたり、会話がうまくいなくて自分の英語力はまだまだなんだと痛感しました。しかし、このままでは自分の英語力は上がらないと思い、自分から積極的に話しかけてみたり、質問されたときには耳を澄まして聞いていたら、自然と英語がすんなり入ってきて、ホームステイの最後の方になるとたくさん話ができるようになり、自分でも英語力が上がったと感ずることができました。ホストマザーにも「この数日で英語が上達して本当にすごいね！」と言われたときは本当にうれしかったです。これからはいろいろなことに積極的に挑戦していきたいです。

2つ目は、学校の違いに驚いたことです。アメリカの学校は日本と違って、自分のやりたい教科を選択していたり、授業をすべて違う教室で受けたり、ランチという時間があったりと、日本と同じところが全然見つからないくらい日本の学校と違っていました。それと、アメリカの生徒たちは、シャイな日本の生徒と違って、日本語で話しかけてくれたり、たくさん話しかけてくれたりと、とてもフレンドリーで楽しかったです！もっと学校に通って友達をたくさん作りたかったです。

ホストファミリーは、私を、たくさん場所に連れて行ってくれたり、たくさん話しかけてくれたり、私に意味があまり伝わっていないと思ったときは、翻訳アプリを使ったり、紙に書いて意味が理解できるようにしてくれたり、たくさんのお優しさが溢れている素敵で最高の家族でした。そして私をゲストではなく、家族として迎えてくれたのが一番うれしかったです！私は、今回ホームステイした家が Audrey の家族で本当に良かったし、恵まれていたと思っています。今度アメリカに行ったときは絶対に会いたいです！そして、日本に来たときは私にしてくれたようにたくさんのおもてなしをしたいと思っています！

最後に、私は今回のパロアルト研修を通じて、貴重な経験をしたりと一生記憶に残るたくさんのお素晴らしい宝物ができたと思っています。このような経験をさせてくださった、土浦市役所の皆様、土浦市国際交流協会の皆様、ホストファミリー、両親に感謝しています。本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第四中学校 小林 心夏

今回のパロアルト派遣での私の目的は、英語のリスニング力と会話力の向上とアメリカの文化を学ぶことでした。

アメリカで過ごした10日間ではたくさんのことを学ぶことができ、今までの自分の考えを大きく変えてくれました。特に変わったのはアメリカ人に対する考えです。アメリカの人は怖そう、アメリカの人は冷たそう、というイメージがパロアルトに行くまではありました。まずそのイメージを変えてくれたのが、私のホストファミリーでした。サンフランシスコ空港からバスで移動し、ジョーダン中についた私たちを、現地の人達は温かく迎えてくれました。そして、ホストファミリーはすぐに私を見つけ出し、荷物を預かってくれました。とても緊張し、会話が詰まってしまった私に、「Do you want to eat gum?」と言ってガムをくれ、会話を弾ませてくれました。その時、とても緊張がほぐれたことを今でも覚えています。

学校では、JLS 中学校の生徒が日本から来た私に明るく声をかけてくれたり、お菓子を分けてくれたりしました。私のバディは友達がたくさんいて、お昼時にはたくさんの友達の輪の中で、楽しくお昼を食べることができました。日本の学校とは違い、自分でお昼ご飯を持って行き自由な場所で食べれるので、さらにパロアルトの人たちとの交流が深まるきっかけになりました。

ホストデイには、日本ではまだ公開されていなかった映画に連れていってもらいました。日本とは違い、映画を観るだけの大きな建物があるのにびっくりしました。映画が始まると日本みたいな静かな空気が広がるのではなく、周りから大きな歓声が上がりました。映画の途中にも面白いところがあるとみんなで笑って楽しんだり、最後には始まったときより大きな歓声がみんなから上がりました。私はそれを見てとてもびっくりしましたが、そんな雰囲気作れて、とても心が温かい人たちだなと思いました。

アメリカで10日間を過ごして、アメリカの人たちの温かさや、優しさをすごく実感することが出来ました。

私は、日本とはまた違った優しさが漂うアメリカ、そしてパロアルトが大好きになりました。もっと英語を上達させて、もう一度パロアルトへ行き、何か恩返しができたらいいなと考えています。

6月にはバディが日本に来るので、私がアメリカで味わったようにバディにも、日本の良さを味あわせてあげたいと思います。

この貴重な経験をさせてくださったホストファミリー、パロアルトの方々、土浦市役所の方々、関わってくださった先生方、他中の友達、両親には本当に感謝しています。この機会を無駄にせず将来に生かしたいと思います。

本当にありがとうございました！！

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第四中学校 鈴木 海風

今回のパロアルト派遣で初めて海外の異文化に触れ、多くの事を感じ学ぶ事が出来ました。

私が今回この事業に参加した理由は、異文化に触れ新たな感性を磨く事と英会話力を高める事でした。この二つの目的は、パロアルトの中学校で叶える事が出来ました。JLS中学校は、日本の学校とは比べものにならないくらい、とても学校の敷地が広く、教室の数もとても多かったです。日本の学校は、クラスで授業を受けるのが基本ですが、アメリカの学校では授業の度に生徒が教室を移動し授業を受けます。また授業の内容も、日本で受けている内容と同じ事もあれば、まったく異なる事を学ぶ教科もありました。ほとんどの教室に電子黒板があり美術や社会では一人一台パソコンを使って授業を受けている光景は、とても驚きました。日本語のクラスでは、日本語の歌を歌ったり、おはしで豆をいくつ掴めるか競争するゲームを行いました。アメリカの生徒はとてもフレンドリーで気軽に会話をする事ができ、とても楽しかったです。

また、私がアメリカで生活している中でとても強く思った事があります。

それは、コミュニケーションの大切さです。アメリカでは、軽く挨拶を交わしただけですぐ仲良くなる事ができました。日本では、黙っていても理解してもらえますが、アメリカでは自分から積極的に話かけ、意思表示をしないと伝わりません。その事に気付いてから、私は今まで以上にホストファミリーとの会話を積極的に行い、その結果ホストファミリー皆ととても仲良くなる事が出来ました。言葉が伝わらず、ホストファミリーに迷惑をかけてしまう事もありましたが、そこであきらめるのではなく、ジェスチャーなどを使ってどうにかして伝えることによって、自分も会話のこつを覚えどんどん話す事が楽しくなってきました。お別れの日ホストマザーが「あなたが日本から来た時はあなたはマデリンの友達でした。しかし今は私達の家族です」と言ってくれた言葉にとっても感動して泣いてしまいました。

私がアメリカで得た事や学んだ事を、これからも自分の将来に生かして行きたいと思えます。

最後に、この様な貴重な体験をする機会を与えて下さった、土浦市長さんをはじめとする、国際交流協会の皆様、土浦市役所の方々、その他この交換交流事業に携わって下さった方々に感謝したいと思います。

ありがとうございました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第五中学校 佐藤 友弥

僕は、今回のパロアルトへの派遣を通じて、日本とアメリカの文化の違いを肌で感じました。その中でも特に印象に残っていることが3つあります。

1つ目は、食事についてです。日本での食事は、ご飯やパンなどの主食の他に、サラダやスープなどのおかずがたくさんあります。しかし、アメリカでの食事では、1回の食事につき1つか2つのおかずしか出ません。もしかしたら、他の家は違うかもしれないけど、僕がホームステイをした家ではあまり多くのおかずは出ませんでした。でも、僕は出されたおかずの種類は少なかったけど、量がとても多かったの、足りなくて後でおなかがすくということがなくてよかったです。

2つ目は、学校の仕組みです。僕がバディと初めてアメリカの学校に行ったときに、1番驚いたことは「自分のクラス」というものがないことです。また、自分のクラスがないので担任の先生もいませんでした。そして、荷物などは長い廊下においてあるたくさんのロッカーに入れていました。その他にも、昼食の際には、教室で食べるのではなく外で食べたり、学校指定の制服がなかったり、放課後の部活がなかったりと、日本との違いの多さに驚きました。

3つ目は、アメリカ人はみな親切で、明るいなと感じました。僕がそのことを初めて実感したのは、アメリカに着いたときの空港です。入国審査のときに、係の人が僕にわかりやすいようにはっきりと英語で話してくれました。また、その後も、ホストファミリーやバディの学校の友達も優しく接してくれました。とくに学校では、初めて会ったのにもかかわらず、先生や友達みんなが気軽に話しかけてくれました。僕は、何か新しいことをするときには、緊張してしまい、あまり積極的に会話ができないのですが、アメリカではたくさんの人のおかげで、常に楽しく過ごすことができました。また、ジェスチャーを交えて会話をしたりもしてくれました。僕は、アメリカ人のこういった行動を見て、僕もあんな人になれたらいいなと思いました。

今回僕は、パロアルトに行って、英語と身近にふれあうことで英語はこれから生きていく上でとても大切なもので、なくてはならないものだということがよくわかりました。僕は今回、英語を聞き取る力がついたと思います。しかし、英語を話すのはまだまだ苦手なので、これからもっと英語の能力を上げ、またいつかアメリカに行ったときには、もっと会話が楽しくなるようにしたいと思います。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第五中学校 関根 由華

“ホストファミリーとコミュニケーションをきちんととれるだろうか？そもそも私に英語は理解できるだろうか？”

私は日本を旅立つ前、不安と緊張でいっぱいでした。アメリカの文化や自然に触れ、自分の英語力を試してみたい！と参加した今回のパロアルト研修でしたが、実際に本場の英語を聞くと、自分が想像しているよりもずっと話すスピードは速く、期待より心配の方が上回っていました。ですが、アメリカで過ごしているうちに、温かく迎え入れてくれたホストファミリーや、顔も名前も知らない現地の人々の優しさに触れ、不安も緊張もあまり感じずに11日間を過ごすことができました。そんな11日間で、特に印象に残っていることが3つあります。

一つ目は、学校生活です。朝は自分たちに合った様々な方法で学校に行き、ランチではスナック菓子を食べ、数学の授業ではiPadを使い、ランチでは自由な場所で友達とお昼を食べるなど、日本では考えられないような生活に驚いてばかりでした。バディとたくさん授業を受けましたが、移動するたびに色々な人がHello!と挨拶をしてくれたり、どんなアニメが好き？アメリカは楽しい？と英語でフレンドリーに話しかけてくれたのも印象的でした。また、日本語クラスで、男の子が私の名前を覚えてくれようとしたのも、嬉しかったです。

二つ目は、食に関してのことです。アメリカにいる間、私は色々なお店に連れて行ってもらいました。そこでも私は驚いたことがありました。例えばマクドナルド。アメリカのマックは日本と違ってサイズがとても大きいと聞いたことがあったので、どのくらい大きいのかと期待していると、運ばれてきたのは日本のMサイズとほぼ変わらない大きさでなんだか拍子抜けしてしまいました。朝に食べに行ったせいかもしれませんがこういう違いも面白いなと思いました。

三つ目は、英語に慣れたということです。最初の頃は全く聞き取れなく、会話もぎこちなかった私でしたが、それでも頑張って聞き取ろうとするうちに、だんだんと英語が少しずつですが分かるようになりました。分からなくてもめげずに聞き取ることはほんとうに大事なんだなと思いました。

今回の研修で、言葉の壁や、大きな文化の違いを感じたと同時に、自分自身で体験してきたからこそ味わえた気持ちもありました。アメリカで過ごした日々を忘れず、もっと英語を勉強して、いつかまたアメリカを訪れたいと思います。この研修に携わっていただき、支えてくれた全ての方々に感謝します。本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦六中 小松崎 桂

僕がアメリカへ着いて最初に驚いたことは、道の広さです。サンフランシスコ空港からパロアルトに向かう道路が片側3車線で、これは僕の想像以上でした。3車線は日本では高速道路以外には見たことがありませんでした。しかも、パロアルト市内に入っても道幅は広いままで、僕らが乗っている大型バスでも全然問題のない余裕の広さでした。日本では想像できないことです。

自然の多さも日本とは違っていました。道路の両側には等間隔に整理された木々が並び、各家の庭も手入れされ、それが周りの自然とマッチしていてとても綺麗でした。

今回のパロアルト派遣で感じたことは、コミュニケーションの大切さです。しっかり伝わるように、下手な英語でしたがゆっくりと喋るように気を付けました。発音が悪くても、ゆっくりと喋ることによって相手に伝わりました。

そして、とても大切だと感じたのがジェスチャーです。アメリカに行って、実際に喋るまでは、ジェスチャーはなくても問題はないだろうと思っていました。最初はジェスチャーなしで話をしていましたが、英語はあまり相手に伝わりませんでした。少し慣れた2、3日目ごろ、ジェスチャーをつけ喋ったら、最初よりは相手に伝わるようになりました。それからは、できるだけゆっくりとジェスチャーをつけながら喋るように心がけました。最終日のころには、英語にも慣れ、家族との会話がとても楽しいものになっていました。英語でのコミュニケーションには勉強することの他に、伝える工夫と積極的な気持ちが大切だということがわかりました。

今回のパロアルトでの体験は、僕の人生経験の中でトップ5に入るくらいの出来事だと思っています。アメリカに行き、文化を学び、また日本の文化を伝えることができた、ぼくにとってまたとない良い機会だったと思います。この経験をこれからの未来にしっかりと生かしたいです。

このような貴重な機会を与えて下さった、交換留学プログラムやお世話を下さった皆様方に感謝しています。ありがとうございました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第六中学校 五頭 詩織

私はパロアルト市で過ごした10日間、たくさんのことを学び、考え、感じました。実際に行ってみて初めて知ったアメリカの良さ、そして、ずっと国内にいたのでは分からなかったであろう日本の良さを知ることができました。

パロアルト市に着くまでの間、日本とはどこか違う雰囲気が漂うアメリカに来たことで、それまで一切感じることのなかった不安な気持ちが少しずつ湧いてきていました。しかし、ジョーダン中学校についたとき、ホストファミリーのみんながこちらに向かって手を振っている姿を見つけ、仲良くやっていけるかもしれないと思っていつのまにかそんな気持ちを忘れていました。

学校訪問の時、休み時間になると何人もの人が、私が理解できるよう簡単な英語で話しかけてくれました。中には日本語であいさつしてくれる人もいて、とてもフレンドリーだと感じました。また、学食を買ったとき、私が交換事業で来たとわかると、「私からのプレゼント」と言ってタダでくれました。アメリカにいる間、何度かこのような優しさにふれました。見ず知らずの私に親切にしてくれて、本当に嬉しかったです。

ホームステイした家では、みんな10時前には寝ていて、他の家でもそうだというので驚きました。アメリカにいる間、日本にいるときと違って規則正しい生活をしました。だけど、やっぱりSNSは使いたくなるので、夜遅くまで使いつづけないアメリカの中学生はすごいなおもいました。

毎日色々なことに衝撃をうけたり感動したりして、充実した毎日を送りました。遠い土地まで行って、学んだことのなかで一番大切だと思ったのは、間違えてもいいからとりあえずやってみるということです。

最初、言い間違いをして理解されなかったら恥ずかしいと思って、一回一回調べながらの会話をしていました。しかし、それでは相手とうまくコミュニケーションをとることができないし、わざわざ外国までいった意味がないと反省をし、わかる言葉を最大限に使って話すようにしました。その結果、何度か会話が成り立たないことがありましたが、楽しく会話ができました。

今回のパロアルト派遣で、とても貴重な体験をすることができました。この経験を無駄にしないよう、これからの長い長い人生に必ず役立てたいとおもいます。

このような素晴らしい機会を与えてくれた土浦市のみなさん、パロアルト市のみなさん、本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

都和中学校 三林 春希

僕は、アメリカでの生活でたくさんのことを学び、体験しました。

今回の研修では、“たくさん英語を話し日本とは異なる文化にふれる”という目標を立て臨みました。もちろんホストファミリーとの生活で日本語を話す事なく、はじめは緊張してしまいなかなか上手に話せなかったけど、自分の分かる英語で一生懸命に話す事が出来ました。

アメリカでは多くの発見がありました。まず、最初の体験は車が左ハンドルというところでした。運転席に乗っているような感覚でとても面白い体験でした。

次に学校生活です。僕が訪問したJLS中学校は、始まる時間と終る時間は日本の学校とあまり変わりませんが、部活動がないという事を知りました。特に印象に残ったところは、学校の自由さです。JLS中学校の生徒は、制服はなく髪を染めている人も見られました。生徒一人ひとりにロッカーがあり、放課後に使うものや携帯電話を持ってくるのは普通でした。授業は、毎回担当の先生の教室に行き授業を受けました。

日本語クラスでは、歌を歌ったり自己紹介をしたりして久しぶりの日本語で少し安心しました。アメリカの授業はパソコンを使ってゲームを作成したり、3Dプリンターでキーホルダーを作ったりして、日本にはない授業内容にとってもわくわくしました。お昼は、カフェテリアで好きなものを食べながら、アメリカのフレンドリーな仲間と楽しい時間を過ごしました。

3月16・17日で訪れたヨセミテ国立公園では、日本では見られない圧倒的な景色を見ることができました。滝やセコイアの木などはとても迫力があり、リスや魚や鳥などたくさんの生き物にも出会いました。その日はヨセミテ国立公園内のホテルに泊まり、夕食をレストランで食べた後答礼パーティの練習をしました。部屋で何人かと集まりトランプなどもやりました。

僕は3日間のホストデイでたくさんのところへ連れて行ってもらいました。スタンフォード大学を訪れたり、科学博物館やバークレー大学に行きたくさんの異文化に触れられたと思います。ホストファミリーと過ごした時間はとても楽しかったです。

最後の2日間、サンフランシスコを訪れました。フィッシャーマンズワープでは教科書で見た、カニの看板を実際に見ることができました。そこでの間で、他の中学校の生徒とも仲良くなることができました。

最後に、今回のパロアルト派遣を通してたくさんの貴重な経験をする事ができました。僕のホームステイを受け入れてくれたホストファミリーや、このような機会をくださったみなさんに感謝の気持ちを忘れずに、これからを過ごしていきたいと思います。

本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

都和中学校 稲田 紋奈

私とバディの Ana は、ホームステイに何う前からメールでやり取りをしていました。私達は、会える日をとても楽しみにしていました。パロアルトに到着し、バスから出た瞬間、沢山のパロアルトの皆さんが私達を出迎えにきてくれていることがわかりました。



私のバディの Ana と彼女のファミリーは私をすぐに見つけてくれ、ハグをしてついに会えたことを喜びあいました。着いた当日から早速、ネイルサロンに連れて行ってくれました。私はスカイブルーにしてもらいました。その時、Ana と沢山の話をしました。その後、スーパーに買い物に行き、とても広くて驚きました。家で夕食の準備をする際、私は料理が好きなことをホストマザーに伝えると、とても喜んでくれ、ステイ中、沢山のスイーツや料理を教えてくれ、レシピまで書いてくれ、とても嬉しかったです。

Ana とは、いろいろなことを共にすることが出来ました。学校では荷物は廊下にあるロッカーに入れ、授業は教科ごと移動します。スナックやママが作ってくれたランチを Ana の沢山の友達と一緒に食べたり、家では、お兄ちゃんやパパと一緒に犬のお散歩に行ったり、朝から学校前にスターバックスに行って朝食をとったりした日もありました。

ホストデーはサンタクルーズへ行き、ブルースカイの空にサンフランシスコのビーチがとてもきれいでした。遊園地ではテディベアをアローで射止めることができました。

最後のホストデーにサンフランシスコに連れて行ってくれました。サンフランシスコでは行きたかったチョコレートのカフェにも連れて行ってくれ、カフェの人がカカオ豆の扱い方を教えてくれました。美味しいホットチョコレートやスイーツをいただきました。日本料理屋さんでラーメンを食べたり、大きなステーキを食べたり、ファミリーとは素晴らしいサンフランシスコの景色を見ながらドライブ中にも、沢山の話をしました。つたない英語も理解してくれ、とても嬉しかったです。

滞在中ずっと爽やかなカリフォルニアサニーに恵まれ、サンフランシスコを満喫することができました。そして何より、Ana ファミリーに出会え、一緒に過ごせたことがとても嬉しかったです。帰国後は、日本の友達にもアメリカの文化の違いやそれぞれの国の良さを伝えたいです。今後もパロアルトとの姉妹都市国際交流が続くことを願います。沢山の皆さんに大変お世話になりました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



パロアルト派遣を通じて感じたこと

新治中学校 塚崎 馨士

今回のパロアルト派遣を通して、僕は印象に残った事が三つあります。

一つ目は、日本の学校との違いです。特に自由さは、日本の学校とはまるで違ったので衝撃的でした。アメリカの学校では、みんな携帯電話を持って来たり、好きなお菓子や飲み物を持ってきて休み時間に食べたりしていました。

また、授業は必修科目がいくつかあり、残りは選択することができて、オーケストラなどの日本にはあまりない科目もありました。教室には日本の学校にあるような四角い机ではなく、丸机が置かれていました。学校で最も驚いたのは、学校の敷地内に、アイス屋さんが来ていたことです。

二つ目は、衣食住生活における違いです。食事における違いでは、どこに行っても値段に対しての量が多かったです。特にソフトドリンクは、Sサイズでも相当な量がありました。衣生活における違いでは、服を毎日洗うのではなく、何日分かためてまとめて洗濯するということと天日干しはあまりせずに乾燥機を使って乾かすということに驚きました。住生活における違いでは、パロアルト市には広い庭のついた大きな家が多くあると感じました。パロアルト市付近には、大企業も数多くあるため、その影響で大きな家を所有している人が多いのかなと思いました。

三つ目は、英会話についてです。僕は英語がけっこう得意なので、アメリカに行く前は、現地でもなんとかなるだろうと思っていました。しかし現実は違いました。自分が言いたいことは、自分のペースで言えるので不自由なく言えました。

しかし、現地の人々の話すスピードは非常に速く、ついていくのが大変でした。また、知っている単語でも自分が思っていた発音と相手の発音が一致しないことがしばしばあり、理解できなかったこともありました。文字のようにじっくり考えられないというのも英会話の難しいところだと思います。現地でもペラペラに会話できるようにするためには、やはり本物をたくさん経験していくのが一番だなと思いました。

最後に、今回のパロアルト派遣は僕にとってかけがえのない素晴らしい経験となりました。この経験を将来に向けて最大限生かせるように、これからも僕は最大限の努力をしていこうと思います。このような貴重な経験をする機会を今回あたえてくださった土浦市長さんをはじめ、市役所の皆様、土浦市国際交流協会の皆様、先生方、パロアルト市の皆様、そして受け入れをしてくださったホストファミリー、心から感謝しています。本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

新治中学校 鈴木 明日香

私は、今回のパロアルトへの派遣事業を通してたくさんのことを学び、たくさんを経験をすることができました。

パロアルトに行って感じたことの1つ目は、アメリカの人は、みんな優しくフレンドリーだということです。日本から来て、英語も上手に話せない私に対して、「Hello」「Hi」とやさしく声をかけてくれました。また、わかりやすいようにゆっくり話してくれたり、たくさん質問をしてくれたりして、とてもうれしかったです。中でも、一番驚いた出来事がありました。それは、私がホテルで、日本へハガキを送ろうとしていた時です。フロントの人に「ハガキを送るには、切手が必要です。」と言われました。でも、私はその時切手を持っていませんでした。もう、あきらめて帰るしかないなと思っていた時、となりにいた男の人が、「切手持っているよ！」と言って、私にくれました。親切な人のおかげですごく助かりました！だから、私も困っている人を見かけたら、助けようと思いました。

2つ目は、日本とアメリカの学校の違いです。学校にスマホを持って行ってよかったり、ネイルをしていてもよかったです。ピアスをしている人がいたり、髪の毛を染めている人もいました。また、2時間目と3時間目の間に「ブランチ」という、お菓子の時間のようなものもありました。放課後には、スタバに連れて行ってくれたり、友達と一緒にタピオカのお店に行ったりしました！こういうことをするのは日本ではできなかったの、少し憧れていました。なんだか新鮮な気持ちでとても楽しかったです。日本とは違ってすごく自由だな！と感じました。

アメリカへ行く前は、「英語を聞き取れるのか」「話ができるのか」など不安でいっぱいでした。実際に現地に行って、自分の話したいことをうまく伝えられなかったり、英語が分からないときも、もちろんありました。でも、だんだんと英語にも慣れてきて、少しずつ分かるようになりました。また、最初は緊張して、自分から話しかけることがなかなかできませんでした。でも、最後の方には、自分から話しかけることもできるようになりました。

日本に帰ってきて、アメリカに行って本当によかったなと思いました。アメリカでは文化の違いや英語に触れることだけでなく、普段の生活の中で大事なことも学べたのではないかと思います。もっともっと、英語を勉強して、自分の思っていることや話したいことをスラスラと言えるようになって、もう一度アメリカに行きたいなと思いました。

この経験を、これからの生活や将来に活かしていきたいと思っています。

こんな貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

研修だより From USA

(成田空港にて)

さっき先生たちと家族に見送られたばかりなのに、数時間後にはアメリカなんて！
早くエヴァンの顔を見たい！！
もうそこにはユナイテッド航空のジャンボジェットが。

着いた～成田空港！！
いよいよ出発！！
アメリカに行く実感が全然ない...
よ～し、頑張るぞ～
Angela 待っててね(^O^)

長谷川 響大

田中 奈穂

すごく緊張してるけど、楽しみ～！！
でもまだ実感わかない！

成田空港ついたあー！
もうすぐ出発かあー！！
アメリカ超楽しみ！！

飯田 愛樹

井上 瑠渚

やばい！めっちゃ緊張してきた！
アメリカでちゃんと話せるか心配だな。

成田到着！
アメリカ行かっていう実感が全くない...
楽しみ～早く行きたい！

新井 開翔

有沢 しおん

あまり緊張せずに
あっという間に成田！
アメリカが楽しみ～

とうとう、出発か～
全然実感わかないけど、楽しみ！

小林 心夏

鈴木 海風

研修だより From USA

(普通にスベキでベサ)

(成田空港にて)

いよいよ出発だ！

緊張するけど目いっぱい楽しもう！

自分がこれからアメリカに行く

実感がない…(笑)

緊張するけどがんばろ！

中田

佐藤 友弥

大塚 川谷 亮

関根 由華

日本を出発か。まだ実感が湧かない。

飛行機、少し不安だな。

外国人がたくさんいる！！

これからもっとたくさんいるところに

いくのか(*'*)

楽しみ～♪

土井

小松崎 桂

田頭

五頭 詩織

成田空港到着！いろんな国の人

今からアメリカだって感じがする。

わーい！いよいよか。

楽しみだなあ。

穴井

三林 春希

林 裕

稲田 紋奈

成田に到着！！いよいよ出発だ。

気合い入れて頑張ろう！

初めてのアメリカ。

不安でいっぱい・・・。

いってきます！！

木村

塚崎 馨士

林 心

鈴木 明日香

研修だより From USA

(アムステルダム)

(サンフランシスコ到着)

初めてのアメリカ本土！！興奮する！
何もかもがデカイ！
20人くらいしかいないのに
こんなバス大きいの??
街並みがきれいすぎる。

長谷川 響大

あっという間に着いちゃった～
サンフランシスコ！！
周りからは英語しか聞こえない。
ここからは英語で頑張らないと...
Angela と家族に会うの
すごい楽しみ☆

田中 奈穂

うわ～アメリカだ～！
いよいよだなあ。

飯田 愛樹

ついに到着！！
久しぶりのアメリカ、
ドキドキするなあー！！

井上 瑠渚

やっと着いた～。
やっぱりアメリカめっちゃ広い！
これから頑張るぞ！

新井 開翔

飛行機長かった～映画見れなかった...
まだ実感ないよ!?大丈夫かな?
早くホストファミリーに会いたい!

有沢 しおん

長かった飛行機が終わって
ついにアメリカ!
ちょっとドキドキしてきた。

小林 心夏

飛行機で全然眠れなかった...
体がだるい。
でも初アメリカ頑張ります!

鈴木 海風

研修だより From USA

(丁度半箇)

(サンフランシスコ到着)

ついにアメリカについたー！
英語での生活に早く慣れなきゃ。

やっとついた！
慣れない飛行機長だった…。
周りは英語ばかり！
ときどきけどなんか楽しみに
なってきた！

中田 佐藤 友弥 関根 由華

9時間なんてあっという間だった。
バスが大きいな！エレベーターも
大きい！
歓迎パーティ、ここまで歓迎して
くれるなんて驚いた。

町並みがすごい綺麗だし、
おしゃれな家がたくさん！
THE アメリカって感じ ♪(๑) < ♡

小松崎 桂 五頭 詩織

緊張して眠れなかった。
周りがみんな外国人だ～！
ちょっと日本語が恋しい。

カラッと爽やかな気候で日本と違って
過ごしやすい。
早く Ana ちゃんに会いたい。

三林 春希 稲田 紋奈

飛行機長だったな～。
遂に着いちまった。
ワクワクしてきた～。

ついにアメリカだ！
スゴイ！
ワクワクしてきた！

塚崎 馨士 鈴木 明日香

研修だより From USA

(巻頭記事)

(前半を終えて)

割と早く時は過ぎるなー。
よかったなホストファミリー優しくて、もうここはアメリカ人！？
何とか英語は通じてる？よね！？

長谷川 響大

もう前半終わっちゃったよ...
早いよ...
生活にも慣れてきて、だんだん聞き取ったり話したりできるようになってきたぞ！
後半はもっともっと楽しもう (^_^)/

田中 奈穂

あと半分か〜。
ホームシックになりかけたけど
残り時間、思いっきり
楽しむぞー (^o^)

飯田 愛樹

もう前半終了っ！？
早すぎ！！
残りの日々もゼンリョクで
頑張るぞっ！！！！

井上 瑠渚

もう半分終わったの?! って感じ。
もう半分は、これまでより精一杯
頑張ろう！

新井 開翔

もう前半終了!? 早すぎるよ...
もっと英語上達させるぞ!
一日一日を無駄にしないように、
全力でいくぞ!

有沢 しおん

前半終わるのが早すぎる!!
残りの1日1日を大切にしなきゃ。

小林 心夏

もう前半終了なんて早すぎ!?
まだまだアメリカに居たい!
残りの時間を大切に過します。

鈴木 海風

研修だより From USA

(半見園公立園マミサE)

(前半を終えて)

時間がたつのは早いなあ。
もっとここでの思い出を作らなきゃ！

藤奈 中田

佐藤 友弥

毎日が充実しすぎてて
時間経つの早い！
ちょっと日本が恋しくなった時もあったけど、なんだかんだ楽しい(笑)

大島 川谷美

関根 由華

JLS、自由過ぎ！
教室の移動が外を通るし、広い。
グローセリストア、雑貨屋、
種類がいっぱい！楽しい！

藤奈 中田

小松崎 桂

もう半分終わっちゃったのか～
ようやくバディと楽しく
会話ができるようになった
ところなのにな(´ー`)。
後半も楽しもう！！！！！！

藤奈 中田

五頭 詩織

ホストファミリーがとても優しくて
楽しい生活を送れた。
残りも大事に過ごすぞ！

大島 川谷美

三林 春希

もう半分以上を過ごしてしまった。
もっといたいなあ。

藤奈 中田

稲田 紋奈

もう半分だと！
残りも思い切り楽しまないと！

藤奈 中田

塚崎 馨士

もう半分！？
早いな～。
この後も楽しんでいこ～！！！！

藤奈 中田

鈴木 明日香

研修だより From USA

(7月25日半宿)

(ヨセミテ国立公園見学)

絶景！！！！

人生で一番きれいな風景！！

壮大なスケールに圧倒されまくり！

バス酔いも吹き飛んじやった！

ミラーレイク嘘みたいキレイ！！

岩とか滝とか山とか全部が

大きすぎる (;O;)

映画の中にいるみたい。

ヨセミテの自然の広大さに口が

あんぐり (笑)

長谷川 響大

田中 奈穂

バスは思ったよりも長かったけど、

その分めっちゃきれいな景色が

見れた～。

すごくきれいΣ(°Д°)

大自然すごすぎるっ！！

山や川、滝、湖、

どれもみんなきれいだあー！

超感動！！

飯田 愛樹

井上 瑠渚

とにかくでかい！

日本じゃ絶対こんな景色

味わえないな…

全てがデカすぎる…！

さすがアメリカ！

日本じゃ見れないよな…

とにかく楽しすぎる！

新井 開翔

有沢 しおん

自然に圧倒された…。

来て良かった！

日本とスケール違いすぎてびっくり！

景色も、自然も綺麗で最高！

やっぱアメリカすごい…

小林 心夏

鈴木 海凪

研修だより From USA

(丁天舞多トマスムーホ)

(ヨセミテ国立公園見学)

写真で見たのと全然違ってビックリ！
日本との違いが凄すぎて感動した。

藤原 中田

佐藤 友弥

この景色が日本と同じ地球上にあることが信じられない。空気おいしー！！
アメリカの違う魅力を発見した気がする！

大野 川谷美

関根 由華

何て広大、でかい！日本が小さい。
幹の太さ、湖、滝、全部に驚いた。

藤原 土井

小松崎 桂

大自然だ！！
なんでここまで大きく育つんだろう。。
日本とはまた違って良い！

藤原 田島

五頭 詩織

映画の中にいるみたい。
ワニみたいな木発見！！
いろいろな発見があるな～。

入谷 J 元許

三林 春希

バスに長く揺られて首が痛い。
木も滝もスケールが違う。
すべてが大きい。
世界の広さを実感した。

藤原 共彦

稲田 紋奈

これが教科書にも載ってたヨセミテか。
空気がおいしい。
圧倒的スケール！！

藤原 木村

塚崎 馨士

これはすごい！
感動する。
日本じゃ見れない景色だったな。

夏川 林心

鈴木 明日香

研修だより From USA

(孝見園公立園マミサミ)

(ホームステイを終えて)

あー帰りたくないー
もう終わりなんて
ホントにありがとう
ホストファミリーのみんな

長谷川 響大

あ〜もうホームステイ終了か...
ホストファミリー、学校のお友達、
先生、いろいろな人に親切にしてく
らって本当に楽しかった！！
THANK YOU！！

みんなとお別れしたくないよ〜(-.-)

田中 奈穂

もう終わっちゃったのか。。。
夢のような11日間だったなあ〜
絶対またアメリカ行きたい！！

飯田 愛樹

帰りたくない〜！ホストファミリーの
みんな！たくさんの素敵な思い出を
本当にありがとう！！
六月に会うときまでにもっと英語が
できるようにがんばろう！！

井上 瑠渚

9日間しかいなかったけど、
ここが第二の故郷って思えるくらい
楽しかった！
本当にありがとう！

新井 開翔

本当にあっという間だったな...
パパ、ママ、お姉ちゃん、オードリー、
たくさんの楽しい思い出を
ありがとう！
また遊びに行くね！

有沢 しおん

あっという間に終わってしまって
すごく悲しい。
たくさんの思い出をありがとう！

小林 心夏

まだ、ホストファミリーと
別れたくない...
皆優しくて最高の家族でした。
ありがとう！
また6月に会えるのが楽しみ！

鈴木 海凧

研修だより From USA

(7月10日)

(ホームステイを終えて)

もう終わりかぁ。
もっとホームステイしたいなぁ。
本当にありがとう！

佐藤 友弥

Madison、Mary、
ほんとお世話になりました！
おかげでたくさん思い出が
できました～！
またいつか絶対会いに行きます。

関根 由華

ホームステイ初体験。思った以上に話
ができ、コミュニケーションもとれた。
現地で過ごす体験ができ本当に
良かった。
活発な家族でみんな面白かった。

小松崎 桂

お別れか。。
数日しかなかったけど
すごい楽しかった！
日本に来るときには、色々連れて行っ
てあげよう。(๑•_•)๑

五頭 詩織

アメリカ最高だった！！
あっという間だったけど
充実した生活を送れた！
ありがとうホストファミリー！

三林 春希

ホストファミリーの皆さん、
お世話になりました。
素敵な思い出が出来て心から
感謝します。
私の下手な英語を根気強く聞いて
くれてありがとう。

稲田 紋奈

めっちゃあっという間だった。
すごく楽しかった。
ホストファミリーとエリック
ありがとう！！

塚崎 馨士

すごく優しくうけいれてくれて
本当にうれしかった。
ありがとう！！
すごく楽しかった！

鈴木 明日香

研修だより From USA

(アメリカから)

(日本に帰国して)

車が左側通行だ！
お母さんの作った餃子うまあ！日本食
じゃないけど（笑）
アメリカ-----！！（泣）
そっか、制服で学校行くんだった。
みんなガム噛んでないし髪は染めてな
い、ネイルだってしてない。
そっか、ここは一中か！（笑）

長谷川 響大

あ～帰ってきちゃった... アメリカに
もっといたかったな～ホストファミ
リーが恋しいよ♡
11日間はすごくあっという間で貴重
な時間だった。こんな経験ができたこ
と、ちょっと前までアメリカにいたこ
とが夢みたい。アメリカに行けて良
かった☆
ホストファミリー、家族、みんなに感
謝です！！
ありがとうございました。

田中 奈穂

もう帰ってきちゃったんだ。
少し寂しいけど、ほっとした。
アメリカもいいけど、やっぱり日本が
いいな(^▽^)/

飯田 愛樹

帰ってきちゃった...
日本語いっぱいだー！！
楽しい時間はあっという間
だったな～。
もっといたかったなあ...とても良い体
験を有難うございました。

井上 瑠渚

本当にあっという間だったな...
今度はこっちの番だ！
日本の魅力を伝えられるように頑張り
よう！

新井 開翔

戻ってきてしまった...
今すぐにでもアメリカに戻りたいよ！
とにかく本当にたのしかった！
日本語が違う言葉に聞こえる（笑）
本当にありがとうございました！

有沢 しおん

やっぱり日本は安心する。
でもまたアメリカに行きたい！

小林 心夏

とうとう日本に、帰ってきちゃった～
2週間前に戻りたい。
でもやっぱり日本は落ち着く。とても
いい経験が出来ました！ありがとうご
ざいました。

鈴木 海風

研修だより From USA

(日本に帰国して)

もう日本に帰ってきたのかぁ。
もっとたくさんの思い出を
作りたかったなぁ。
でも、日本語が聞けて少し安心。

佐藤 友弥

あっという間だった。楽しかった。
歓迎してくれた分を返せるように、
しっかりと準備して Max をもてなそ
うと思った。
帰りたくなかった。また行きたい！

小松崎 桂

久しぶりに日本語が聞けて安心したけ
れど、もっとアメリカにいたかった。

三林 春希

久々の日本！
すごくホッとする。
やっぱり故郷はいいね！

塚崎 馨士

周りが日本語で、なんだか安心
しました（笑）
言葉が通じるって幸せだなあ…！
ただいま日本！！

関根 由華

帰ってきた～！！
アメリカは新しい発見がいっぱいで
楽しかったけど、やっぱり日本が
落ち着く！
でもまた行きたい(。>^<)♡*。

五頭 詩織

日本語が新鮮。
日本食が食べたい。
じめじめした気候を改めて体感する。

稲田 紋奈

日本だ！なんか安心。
ご飯たべたいなぁ。
もっと英語勉強してもう一回
アメリカ行きたい！

鈴木 明日香

引率者より

土浦第五中学校教諭 飯島 聡子

平成29年3月11日から21日まで、16名の生徒と一緒に素晴らしい日々を過ごさせていただきました。

3回の事前研修では、はじめはなかなか話をできなかった生徒たちでしたが、時間が経つにつれ、お互いに声をかけ合って研修をよりよいものにしていました。研修に参加するという積極性を兼ね備えた生徒たちだったので、研修の際の話し合いでは、回を重ねるごとに意欲的な発言が多くなり、周りにアドバイスをしたり声をかけたりと、私がひとことアドバイスをするだけで、自分たちの力ですべてをまとめあげていました。

3月11日の結団式では、緊張した面持ちで集合し、結団式に臨みました。副市長はじめ多くの方に励ましの言葉をいただき、生徒たちは土浦市の代表として研修に参加するという責任感を改めて感じたようでした。

成田空港からパルアルトに到着するまで、空港内や機内でたくさん話をして、さらに良い関係づくりをしていた生徒たちを見て、「この子たちならきっとよい研修になる。」と、安心して見守ることができました。

パルアルトに到着して、歓迎パーティーでバディと対面したとき、バディの家族だけでなく、関係者の皆様すべての方にあたたかく、そして笑顔で迎えていただきました。空港から向かうバスの中では、不安の言葉がもれ、緊張した面持ちだった生徒たちから、やっと笑顔がこぼれました。メールでのやりとりはしていたものの、やはり直接会うまでは不安があったようです。直接的なコミュニケーションの大切さを改めて感じました。

市立JLS中学校とジョーダン中学校に分かれて、日本語のクラスだけでなく、生徒たちはいくつかの授業に参加させていただきました。私は、日本語のクラスを参観させていただきましたが、アメリカの生徒たちが日本語を一生懸命そして楽しく学ぶ姿に、「学習」は「楽習」であることも大切なのだと感じました。土浦市の生徒たちも、アメリカの生徒たちが積極的に発言したり、失敗を恐れずにチャレンジしたりする姿を見て、よい影響を受けたようでした。

生徒たちは、ホストデイにホストファミリーと様々なところでいろいろな経験をさせていただいたようで、その時の様子や楽しかった出来事をたくさん教えてくれました。そのときの顔は、目が輝いていて、ホストファミリーに会うまでの不安な表情とは180度違ったものでした。しかし、その中で、「アメリカは自由な国」というイメージを少し変えたようです。自由であるからこそ故に、責任感をしっかりともつてのぞまなければいけないこと、自分自身をしっかりと確立していなければならないことなど、他国で生活しなければ知ることができないことを学んでいました。

3月16日、17日には、ヨセミテ国立公園を訪れる機会をいただきました。日本とは比べものにならないスケールの自然の中で生活したことは、忘れ得ることのでき

ない思い出となったようです。普段の年よりも降水量が多かったことで、公園内の滝はいつも以上の迫力であることをガイドさんに教えていただきました。動物たちに出会うことは少なかったのですが、まだ雪の残る公園内を、時間をかけて散策し、心が洗われた気分になりました。

19日には、研修時にみんなで何度も話し合いを行って決めた内容をもとに、答礼パーティーを行いました。福笑い、絵しりとりを行って、アメリカの生徒たちだけでなく、ホストファミリーのみなさんにも「新しいゲームを教えてもらってありがとう。」といわれ、楽しんでいただけたようでした。生徒たちも楽しんでもらおうと「おもてなし」の気持ちでパーティーを進行していたので、みなさんに楽しんでもらえたことで満足した表情で終えることができました。

パーティーの後、私たちがパロアルトを離れる時間が近づくと、生徒たちの目からは涙がこぼれ始めました。言葉は100%すべてが通じたわけではないけれど、約8日間一緒に過ごしたことで生まれた「絆」がそこにしっかりと刻まれていました。ひとりひとり生活の中での思い出は違っても、みんなでがんばったという満足感と、外国で自分のできる限りの力で生活したという自信は、全員が持ち帰ってこられたと思っています。

日本へ発つ前日は、サンフランシスコ市内を観光しました。サンフランシスコは霧が多く発生することで知られていますが、その日はそれほど霧もなく、ゴールデンゲイトブリッジの姿をはっきりと見ることができました。

日本へ発つ日、生徒たちは、やりきったという満足感と、まだ帰りたくない、まだやり残していることがあるという気持ちが混在しているようでしたが、慣れない土地で生活したことで精神的にも肉体的にも疲れているようでした。帰りの飛行機では、パロアルトでのそれぞれの生活の思い出話に花が咲いていました。

今回の研修で、私を含め、生徒たちは様々な経験をさせていただきました。その中には失敗もありましたし、精神的に辛かったこともあったことは事実です。しかし、そのようなことを乗り越えたことで、ひとまわりもふたまわりも成長したと感じています。また、今回の研修を通して、日本の良さを再認識したこともありました。国際社会に生きるひとりの日本人として、3年後にオリンピックを控えている国に住むひとりの人間として、日本の文化、習慣、行事などを、胸を張って世界に伝えられる人間になってほしいと思っています。

最後に、今回の交換交流事業の引率にあたり、多大なるご支援、ご協力をいただきましたすべての関係者の皆様方に感謝申し上げます。そして、長年の間、生徒たちがこのような経験をできる場を与えてくださっている土浦市に感謝するとともに、パロアルトとの関係がいま以上によりよいものになることを期待しております。

引率者より

土浦市市民生活部市民活動課 佐藤 悦夫

米国西海岸から11時間かけて日本に到着し、現地研修から日常生活に戻ろうとする土浦の生徒たちの表情は様々でした。長旅の疲れやアメリカを離れた寂しさ、日本に帰ってきた安堵感などが入り混じっているように見えました。ひとつ確かだったのは、3月11日、各地で震災の追悼行事がおこなわれるなか日本を発ったあの日とは違う、何かをやり遂げた自信や充実感に満ちた表情であったことです。

両市の交流が始まったのは24年前。それ以降日米を取り巻く世界の情勢は大きく変化しました。そのなかで起こる出来事が、事業の遂行に直接影響を与えることもありました。先に述べた震災による事業の中止もありました。しかし今もこうして交流は続き、もうすぐ四半世紀を迎えようとしております。

なぜここまで続いてきたか。それは生徒や家族にとって楽しいプログラムであったことがいちばんの理由でしょう。それはホストのおもてなしを受け、いろいろな場所に連れていってもらい楽しさだけではなく、生徒自身が主体的に共通点や違いを交流を通じて発見していく楽しさのことです。教科書の世界ではなく実体験として習慣や思考の違いを知り、戸惑い、それを乗り越える。そのような体験が大なり小なりどの生徒にもあったはずです。そしてそれはかけがえのない経験、財産です。

生徒たちは滞在中、自分自身や日本について質問されることが度々あったと思います。そして、それに答えることがとても難しいことだと実感したのではないのでしょうか。学校訪問の際には、土浦の生徒が、自分たちは朝から部活動に励み、夜には塾に通うことを紹介していました。パロアルトにそのような生徒は皆無です。なぜ自分たちがそうしているのか、伝えることができたのでしょうか。それは言語の壁とはまた別の難しさです。将来は海外で活躍したいという派遣生が今回も見受けられます。実際そうなることでしょうか。そのとき自分が日本人であることを強く意識することになるはずですが、異文化を知ることも大切ですが、まず自分や日本について理解してほしいと思います。国境を超えた人の往来がこれだけ活発になっている今日、それは国内にいても言えることです。この短期間の研修だけで生徒たちのスキルが何か劇的に上がることはありません。それは日々の努力の中で培われるものです。しかし派遣生にそのような気付きを与え、日々の生活のモチベーションを高めることになるのであれば、このプログラムは成功だったと言えるのではないのでしょうか。

新治地区で生まれたごく限られた個人間の交流が、これほどまでに広がり発展してきたことは驚くべきことです。そしてその相手がパロアルトという素晴らしいまちであったことは奇跡だと思います。何より人が素晴らしいまちです。これまで続けてきたもうひとつの大きな理由は、この事業を長年陰で支えてくださった人々の存在です。訪問中そうした方々にもお会いし、感謝の気持ちを新たにしました。そしてもちろん今回事業に関係されたみなさまにもこの場を借りて感謝申し上げます。

受入れの部

平成29年6月 土浦市中学生交換交流事業(土浦市受入れ)参加者名簿

1. ホームステイ組合せ

No.	受入学校名	土浦市	パロアルト市	
		生徒氏名	生徒氏名	所属学校・学年
1	土浦第一中学校	はせがわ きょうた 長谷川 響大	Evan Arbolante エヴァン・アーボランテ	JLS中 7年生
2		たなか なほ 田中 奈穂	Wallie Butler ウォーリー・バトラー	ジョーダン中 7年生
3	土浦第二中学校	いいた あき 飯田 愛樹	Erin Kim エリン・キム	ジョーダン中 7年生
4		いのうえ るな 井上 瑠渚	Juliette Rudelle ジュリエット・ルデル	ジョーダン中 7年生
5	土浦第三中学校	あらい かいと 新井 開翔	Sidd Shashi シド・シャシー	JLS中 7年生
6		ありさわ しおん 有沢 しおん	Jasmine Lesner ジャスミン・レズナー	JLS中 8年生
7	土浦第四中学校	こばやし ここな 小林 心夏	Tanya Guzman ターニャ・グーズマン	JLS中 8年生
			Michela Seah ※ ミケーラ・シーア	JLS中 8年生
8		すずき みなぎ 鈴木 海凧	Madeline Siu マデリン・シュー	JLS中 8年生
9	土浦第五中学校	さとう ともや 佐藤 友弥	Evan Seki エヴァン・セキ	ジョーダン中 7年生
10		せきね ゆか 関根 由華	Madison Wong-Brady マディソン・ウォン・ブレイディ	JLS中 8年生
11	土浦第六中学校	こまつぎき けい 小松崎 桂	Max Robinson マックス・ロビンソン	JLS中 8年生
12		ごとう しおり 五頭 詩織	Emily Cheng エミリー・チェン	ジョーダン中 8年生
13	都和中学校	みつばやし はるき 三林 春希	Ethan Lin イーサン・リン	JLS中 7年生
14		い나다 あやな 稲田 紋奈	Ana Hom アナ・ホム	JLS中 8年生
15	新治中学校	つかざき きょうじ 塚崎 馨士	Eric Fan エリック・ファン	JLS中 7年生
16		すずき あすか 鈴木 明日香	Laura Lengre ローラ・レングル	JLS中 7年生

※6月12日～17日滞在

2. パロアルト市引率者

No.	氏 名	備 考
1	Jennifer Buenrostro ジェニファー・ブエンロストロ	ネイバーズアブロード副会長
2	Kent Seki ケント・セキ	ジョーダン中 Evan Seki の父
3	Dena Seki ディナ・セキ	ジョーダン中 Evan Seki の母
4	Mary Wong メアリー・ウオン	JLS 中 Madison Wong-Brady の母
5	Andrea Burgan アンドレア・バーガン	引率者 Jennifer Buenrostro 実妹

3. その他参加者

No.	氏 名	備 考
1	Liam Burgan リアム・バーガン	引率者 Andrea Burgan 長男
2	Marian Seah マリアン・シーア	JLS 中 Michela Seah の母
3	Johannah Seah ジョハンナ・シーア	JLS 中 Michela Seah の妹

受入れ日程

月 日	主なプログラム
平成29年 6月 8日(木)	東京見学(パロアルト市参加者のみ)
	歓迎・交流パーティー 【会 場】 霞浦の湯 大ホール会議室 【時 間】 18時30分～
9日(金)	日光東照宮見学(パロアルト市参加者のみ)
10日(土)	ホストデイ(終日、ホストファミリーと共に)
11日(日)	ホストデイ(終日、ホストファミリーと共に)
12日(月)	【パロアルト市派遣生】 ホストと中学校体験 【パロアルト市引率者】 中学校訪問(都和中 10時～) (五 中 11時30分～) ※五中にて生徒と給食
13日(火)	【パロアルト市派遣生】 ホストと中学校体験 【パロアルト市引率者】 中学校訪問(一 中 9時30分～) (四 中 11時～)
14日(水)	
15日(木)	関西方面研修(京都、広島、姫路) ※パロアルト市参加者のみ
16日(金)	
17日(土)	そば打ち体験(両市中学生及び引率者) 【場 所】 小町の館 【時 間】 9時30分～
	座禅・茶道体験(両市中学生及び引率者) 【場 所】 向上庵 【時 間】 13時～
18日(日)	答礼パーティー 【会 場】 ワークヒル土浦 【時 間】 10時～ パーティー終了後、パロアルト市一行は羽田空港へ向けて出発

Tsuchiura Trip 2017

2017年土浦旅行

アナ・ホム

This past June, seventeen middle school students including myself visited Palo Alto's Sister City, Tsuchiura, Japan for about two weeks. We were able to have this experience through The Palo Alto Neighbors Abroad exchange program. I had a student from Tsuchiura, Japan come to stay at my house earlier this spring to know what it is like to be a student in Palo Alto, California.

(和訳)私を含め17人の生徒がパロアルト市の姉妹都市である土浦市を約2週間訪れたのは6月のことでした。パロアルト市ネイバーズアブロードの交換交流プログラムを通してこれを経験することができました。この春我が家では、カリフォルニア州パロアルトの学生生活を経験するために、日本の土浦から訪れた生徒を迎えていました。

Whilst I was in Japan, we visited many places with the program such the Edo Museum, The Imperial Palace in Tokyo, the Temple at Nikko, Himeji Castle, the Hiroshima Peace Memorial, and Itsukushima Shrine in Miyajima. With my host family (the Inada's), I was able to participate in more of the daily activities such as going to school and shopping at the mall with my exchange student. We even went to places exclusive to Japan such as the various cafes (ex. Cat cafe, owl cafe, rice cracker cafe, etc.) It was very interesting to see the differences between Japan and America firsthand.

(和訳)日本滞在中はプログラムにあった、東京の江戸東京博物館や皇居、日光、姫路城、原爆ドーム、宮島等多くの地を訪れました。ホストファミリーである稲田家の皆さんとは、より生活に関係した活動に参加することができました。バディと登校したりショッピングに行ったりしました。日本以外ではありえないような様々なカフェ(猫カフェ、フクロウカフェ、せんべいカフェなど)へも行きました。直接日本とアメリカの違いを経験するのはとてもおもしろいものでした。

Some highlights of the trip were: getting to know my student better and creating a stronger bond by spending a lot of time together and having her introduce me to her lifestyle. An aspect of her lifestyle that I particularly enjoyed was going to school. When I arrived, everyone was so kind to me. I even became friendly with many teachers. Even though I was at school for only a couple of days, my buddy's classmates made a card with messages for me written on it. Another thing I liked about Japan was obviously the food. All the meals I had were delicious! One of my favorite dishes was soba. All the students came to a soba making class, which was really interesting and we got to make the noodles from scratch and eat it in the end. Food definitely tastes better when you are able to make it yourself with your friends. Of course, these are just a few of my favorite memories in Japan. I have to admit, there was never a dull moment. I would definitely recommend others to join in on the experience as well.

(和訳) 旅行のハイライト： バディと多くの時間を過ごし、日常生活を紹介してくれることで、バディについて多くを知ることができ、絆が深まったこと。バディの生活において私がとりわけ楽しんだことといえば、学校へ行ったことでした。私が到着すると、みなさんととても親切にしてくださいました。多くの先生たちとすら仲良くなりました。たった2日間の学校生活でしたが、バディのクラスメートたちは私にメッセージカードを作ってくれました。日本について私が好きなもうひとつのことは、文句なく食べ物です。すべての食事がおいしかった！お気に入りの食事のひとつがそばです。生徒全員がそば打ち教室に参加しました。本当に楽しくて、そば打ちの基本から習い、最後ににそれをいただきました。食べ物というものは、自分で、また友達と一緒に作ることができたときには一層おいしくなります。もちろん、これらは日本でのお気に入りの思い出のほんの一部に過ぎません。退屈な瞬間は皆無であったと認めざるを得ません。みなさんも同様にこれを経験されることを強くお勧めします。

引率者より

メアリー・ウォン

Wow, I had an amazing time in Japan. The Sister Cities program truly fosters promoting global and intercultural growth. Thank you so much to our friends at Tsuchiura International Division for all the time spent chauffeuring us around and ensuring our trip was special and ran flawlessly. Also many thanks to all our wonderful host families.

(和訳) なんという素晴らしい時間を日本で過ごしたのでしょうか。姉妹都市交流プログラムはまさにグローバルかつ国際的な成長を促すものです。土浦市国際係には、いつも送迎していただき、この旅行を特別で完璧なものにしていただきありがとうございます。また、すべての素晴らしいホストファミリーの皆様からは手厚いもてなしを受けました。そして私たちの輝く友情を育んでいただき感謝申し上げます。

The opportunity to be a chaperone for the 2017 Sister Cities trip to Tsuchiura was a delightful exploration from start to end. I went home having made new friends, enjoyed new experiences, and have many treasured memories of my trip to Japan from the welcome party, our stay in Tsuchiura, our lovely host the Sekine family, visits to Nikko, Hiroshima, Kyoto, Miyajima, Himeji, and the appreciation party.

(和訳) 土浦市への2017年度姉妹都市旅行に引率者として参加しましたが、最初から最後まで楽しみに満ちたものでした。新しくできた友人や初めての経験の数々、歓迎パーティ、土浦での滞在、素敵なホストファミリーの関根家の方々、日光、広島、京都、宮島、姫路旅行、そして答礼パーティに至るまで日本でのかけがえのない思い出を胸に帰国しました。

The adventure began when we were picked up by Tsuchiura officials. A chartered bus took us to the Imperial Palace, Asakusa for lunch, shopping, and then to the Tokyo Edo Museum. After nearly 10 miles of walking in Tokyo, we made our way back on the bus headed to Tsuchiura. We were welcomed with a fabulous party and most of the Tsuchiura city officials were in attendance. We were greeted with warm speeches by the Mayor of Tsuchiura as well as the head of the Tsuchiura International Division. We then met with our host families and after a large group compai celebration; our Palo Alto students went home to with their host families.

(和訳) 土浦市職員が私たちを迎えに来た時から愉快的な体験が始まりました。専用バスで皇居へ行き、浅草で昼食及び買い物をし、江戸東京博物館を訪れました。東京では約10マイル歩いた後、土浦へ向かいました。すばらしい歓迎を受け、市職員も多数参加していました。土浦市長や協会会長からはあたたかいご挨拶をいただきました。そして乾杯後ホストファミリーと対面し、パロアルトの学生たちはそれぞれのお宅へ向かいました。

I later had the honor to spend time with our host family. The Sekine family invited me to a wonderful welcome dinner at their home and took us for an outing over the weekend to gather the sweetest and tastiest melons in the Ibaraki prefecture.

(和訳) その後私はホストファミリーとのひと時を過ごすことができました。関根家の皆さんは、ご自宅ですばらしい食事会を開いてくださり、週末は茨城県一甘くておいしいメロンの収穫体験に連れて行ってくださいました。

We chaperones also had the opportunity to visit Tsuwa Middle School, Middle School # 5, #1, and #4. All the kids were charming. We enjoyed visiting the classrooms, seeing all the different extracurricular activities, and it was fun to see our kids participate in the school activities and in uniform. Additionally, we chaperones were impressed with the uniformity of all the bikes parked in the bike racks at each school. A few of our kids even mentioned how much they loved Japanese school and wished they could go to school in Japan.

(和訳) 引率者たちには、都和中、五中、一中及び四中を訪問するという機会もありました。すばらしい学生ばかりでした。教室を訪問し、さまざまな課外活動や、制服を着て学校行事に参加しているパロアルトの生徒の姿を見学して楽しみました。さらにどの学校においても駐輪場に自転車が整然と自転車がとめられていることに感激しました。なかには学校が好きになり、日本の学校に行きたいという学生もいました。

Later that week we had a chance to explore the magnificent Nikko Shrine, the Hiroshima Peace Memorial, and Kyoto with its dazzling Golden Temple, the peaceful Ryoanji Garden, and the Gion Area. We stayed at Ryokufuso in Kyoto. It was such a treat to be taken back in time to experience a traditional Japanese style atmosphere, tatami, and enjoy a Kaiseki dinner and breakfast. We also saw the great Tori in Miyajima, and I tasted for the very first time savory Japanese Pancake okonomiyaki, delicious, and lastly but not least the majestic Himeji castle lovely to behold and masterful in design.

(和訳) その週後半には壮麗な日光、原爆ドーム、まばゆい金閣寺、穏やかな竜安寺、そして祇園界隈を訪れました。京都では緑風荘という旅館に泊まりました。タイムスリップしたかのような伝統的な日本の趣を体験し、また懐石料理をいただいたりして大満足でした。宮島の大鳥居を見学して、評判の美味しいお好み焼きを味わいました。そして忘れてならないのは眺めも設計も素晴らしい姫路城でした。



Our last field trip we made soba noodles and hiked to the temple for meditation and a tea ceremony. Would you believe this was my first experience trying cold soba noodles? I enjoyed it the soba noodles so much I have incorporate soba noodles into our menu at home. Definitely not as yummy as the fresh soba I tried in Tsuchiura, but tasty enough to bring back fond memories of my time in Tsuchiura.

(和訳) 最後の外出イベントでそば打ちをし、座禅と茶道のために寺へむかいました。私が冷たいそばを食べたのはこれが初めてなのです。とてもおいしかったので、そばは我が家の献立に入っています。申し上げるまでもなく土浦の新鮮なそばのようにおいしくはないのですが、土浦で過ごした数多くの懐かしい記憶を思い出すには十分な味です。

We spent our last hours in Tsuchiura enjoying time with all our new friends at the appreciation party. Everyone had a great time visiting with one another, viewing each of the students' drawings, and it was so entertaining to watch all the kids compete at the chopstick game. As the party ended and we were getting closer to the end of our trip we hugged our friends. Many of us were touched with tears and with tears starting to pool in my own eyes my host family and I shared warm hugs and I said “see you later” to my new friends as we began to board the bus for our journey home.

(和訳) 土浦での最終日には、答礼パーティで新しい友人たちと楽しいひと時を過ごしました。おしゃべりしたり、生徒たちが描いた似顔絵を見たりして楽しみました。また、学生全員がおはしゲームで競い合う姿も愉快なものでした。パーティが終わると旅行も終盤です。みな涙をこらえきれなくなりました。私もホストファミリーも目に涙、互いに抱き合い、バスに搭乗する際には「またね」と日本の友に告げて帰国の途につきました。



パロアルトからの受け入れを通じて感じたこと

小林 佐知子(土浦四中 小林心夏 保護者)

この度、土浦市中学生交換交流事業に参加させていただき、とても素晴らしい貴重な体験をする事が出来ました。土浦市ならびにパロアルト関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

中学に入学した頃からずっと海外に興味を持っていた娘の念願の交換留学。英語もあまり話せない状態での出発し、とても心配でしたが、パロアルトから帰ってくると「すごく楽しかった！また絶対に行きたい！もっと英語の勉強を頑張ろう！！」と、沢山の楽しかった体験を家族に話してくれました。

6月の受け入れでは、我が家には新しいバディの受け入れ、そして、娘がパロアルトでお世話になったバディとその家族が途中から交流するという事になりました。心配な面は沢山ありましたが、2人のバディとの交流は本当に貴重な体験でした。

3人で肩を並べて学校に登校し帰宅すると、リビングに3人並んでテレビを見ながら会話をしたり笑ったりという姿を見て、とても温かい気持ちになりました。

家族では、牛久の大仏を見に行ったり、ショッピング、夜は花火をしました。一日一日を家族みんな楽しく過ごすことが出来ました。

娘の「行きたい！」と言う一言から、こんなにかけがえのない体験が出来た事、家族みんな嬉しく思います。

参加させていただき、本当にありがとうございました。



パロアルトからの受入れを通じて感じたこと

三林 真弓（都和中 三林春希 保護者）

今回この中学生交換交流事業に参加できた事は、私たち家族にとって大変貴重な体験になりました。土浦市とパロアルト市の関係者の皆様には心から感謝申し上げます。また、研修生の保護者の皆様には、些細な事でも相談に乗っていただき本当にありがとうございました。

息子にとっては親と離れての初めての海外とあり不安が多くありましたが、それと同時に、この好機によりたくさんの体験をし自分の世界を広げて帰って来て欲しいと願っていました。

息子には携帯電話を持たせなかったのですが、パロアルトにいる間の状況はホストファミリーの母親からのメールで知ることができました。皆さんとても親切で英語が通じにくいながらも息子をとても慕ってくれている様子でした。11日ぶりに帰ってきた息子の表情はとても明るく、どれだけ充実していたかがよく分かりました。会った事はない息子のホストファミリーに私も親近感を抱くことができました。



三か月後の受け入れの日まで、彼が来たらどこに行こうか、何をしようか、家族でたくさん考えました。そのせいか、バディに会えた瞬間、彼が懐かしいとさえ感じました。

バディには日本の文化に触れて欲しいと思い、子供たちが習っている空手の体験をしたり、庭で本物の竹を使って流しそうめんをしました。中学校訪問時には息子が所属する卓球部の練習に参加しました。スポーツが得意で社交的な男の子だったので二日間で都和中生にすっかり馴染んでいたようです。

訪問期間中は子供の行事が重なってしまい、ホストデイに遠出をさせてあげる事は出来なかったのですが、バディは日本食が好きだったので、回転寿司店や蕎麦屋、家では手巻き寿司や餃子やラーメンなど、食事の面ではいろいろと体験できたのではないかと思います。

バディが我が家に来て満足できたのかどうか常に不安でしたが、最後のお別れの時、彼が見えなくなるまで笑顔で手を振ってくれた姿を見て安心しました。お別れしてしばらくの間、私たちは家族を一人失ったような寂しさを感じていました。その気持ちをバディの母親に告げると、同じ感情を私の息子にも感じていたと知らされました。国籍は違っても、子供を思う気持ちは共通していると確信しました。

国際交流にはかなりの抵抗を持っていましたが、この体験を機に、息子だけでなく家族みんなで世界を広げていきたいという目標を持つことができました。いつか家族でホストファミリーに会いに行きたいです。今となっては少しの勇気を持つことでできるような気がしません。本当に貴重な体験をありがとうございました。

活動紹介写真

パロアルト市派遣 (平成 29 年 8 月 11 日～21 日)

★ 対面・ 歓迎パーティー ★



▲ 待ってたよ！家族みんなでお出迎え



▲ EAST MEETS WEST.
出会いは緊張。けどとてもエキサイティング！



▲ あたたかい歓迎であつという間に笑顔に



▲ パーティーはポットラックのスタイル。
料理は多国籍でおいしそう♪



▲ 素敵なポスターを作ってくれていました



▲ パーティーで互いの距離をグッと縮めました

★ パロアルトの風景・ホストデイ・クッキングナイト ★



▲ パロアルト周辺には
IT企業がたくさん ▼



▲ クッキングナイト
日本の食事をホストファミリーに
ごちそうしました。



▲ 店員さんへの注文はバッチリ！

★ スタンフォード大学 ★

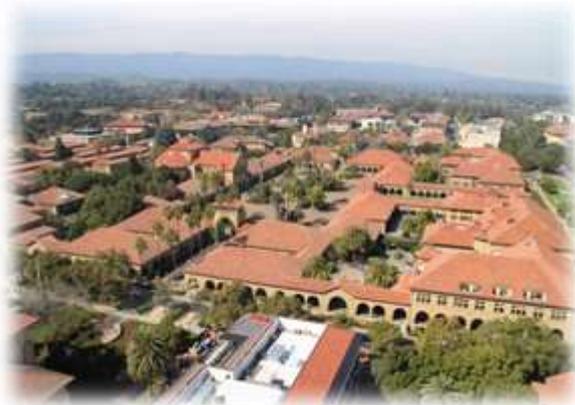


▲ スタンフォードはパロアルトの代名詞

カリフォルニアの大学らしく椰子の木が並びます ▶



▲ ランドマークのフーヴァータワーにも登りました



▲ 見渡す限りの広大なキャンパス
オレンジ色に統一された屋根が鮮やか



▲ 大学の教会内部。神聖な雰囲気。



▲ 3月は大学バスケのクライマックス

★ ヨセミテ国立公園 ★



▲ 世界遺産を訪れました



▲ 大自然を満喫しながらたくさん歩きました



▲ 滝に近付いてみる。水しぶきがすごい！

鏡のように風景を映し出す湖面 ▶



▲ 渓谷の景色は息を呑む絶景



★ ビンゴナイト ★



▲ ビンゴをしながら楽しい夜を過ごしました



▲ ここでパロアルト市長からの
宣誓書の授与がありました

★ 答礼パーティー ★



▲ 司会からゲームまで自分たちで進めました



▲ ゲームを楽しんでくれたみたい。よかった！



▲ でもついにお別れの時が・・・



▲ また会おう！最後は笑顔で

★ サンフランシスコ市内見学 ★



▲ サンフランシスコは坂のまち



▲ ツインピークスにて



▲ 活気あふれるフィッシャーマンズワーフ



▲ 名物のアシカの群れ

旧収容所の
アルカトラズ島



▲ まちの象徴ケーブルカーに乗車



▲ ゴールデンゲートブリッジを背に

パロアルト市受入れ（平成29年6月8日～18日）

★ 歓迎・交流パーティー ★



▲ みんなで歓迎ポスターを作りました



▲ ホストファミリーとご対面。
優しそうな家族でよかった！



▲ 出会いと再会を祝してあちこちで写真撮影



▲ 乾杯！これから土浦を、日本を楽しんで



▲ 土浦を代表して歓迎のスピーチ



▲ パロアルトの生徒からも日本語で挨拶

★ 中学校訪問 ★



▲ 制服で一緒に登校♪



▲ 学校の授業を体験 ▼



▲ 英語の授業。さすがネイティブは違う！



▲ 生徒が引率者に学校を案内してくれました。



▲ こちらは美術の授業。水墨画に挑戦。

★ そば打ち体験 ★



▲ チカラを合わせてガンバレ! ▼



▲ 同じ太さに切れているかな?!



▲ 見事な出来栄え



▲ 日本人にとっても貴重な機会



▲ 完成! このあと手作りそばをいただきました

★ 座禅・茶道体験 ★



▲ まずは座禅。早速足を組むのに悪戦苦闘



▲ 長い瞑想の時間。心を無にできている？



▲ これも座禅の醍醐味です



▼ 和尚さんにはたいへんお世話になりました

▲ 茶道も体験しました ▼



★ ホストデイ・クッキングナイト・関西研修 etc. ★



▲ 着付体験 いい思い出になったね！



▲ パロアルトではできない花火。
自由に楽しめるって素晴らしい！



▲ 今度はパロアルトの生徒が
こちらでクッキング
家庭の味を披露

バディーに
剣道を体験
させてもらう。▶
名前入りの
防具まで！



▲ こちらは日光東照宮 どの建築物もきらびやか



▲ パロアルト御一行は途中関西方面へ。
旅館に泊まり浴衣を着て和を満喫

★ 答礼パーティー ★



▲ おはしゲーム シンプルだから盛り上がります



▲ 似顔絵コンテスト
みんな特徴をよく捉えていました



◀ 最後まで
日本語で
感謝の言葉
を述べて
くれました



▲ ありがとう、また必ず会おうね！！

**平成29年度 土浦市中学生交換交流事業
(パロアルト市) 実施報告書**

編集／平成29年度 土浦市中学生交換交流事業派遣生・保護者及び引率者
発行／土浦市国際交流協会
土浦市大和町9番1号 土浦市市民生活部市民活動課内
電話 029-826-9051